VOL.28

WEST 2025. April
TAKE FREE

MEG

Mixture
Entertainment
Guide

Cover Artist
Special Interview

藤木大地

ムジークフェストなら2025に
豪華ソリストと共に登場!

スタートの春
オトナなライブが
新しい時代を創る!

Special Interview
福山 修×山口明洋／リオ・クオクマン
髙橋直史／篠原悠那
小菅優／藤間勘十郎
LE VELVETS／桂 米紫
佐渡裕／三ツ橋敬子
松本宗利音／並河寿美
〈掲載順〉

藤木大地

**本誌「MEG関西版」でコラムを担当する藤木大地が、
奈良県の大和高田さざんかホールに「藤木大地&みなとみらいクインテット」として豪華ソリストと共に登場する。
今回のコンサートは奈良県が主催し、今年が12回目となる「ムジークフェストなら2025」のメインのコンサートだそうだ。
コンサートの聴き所などを、このホールでレジデント・アーティストを務める藤木大地に聞いた。**

── 大和高田さざんかホールには、2022年以来3年間で4度も出演されています。「藤木大地&みなとみらいクインテット」としても2023年に出演されていますね。

ホールは来年で30周年だそうですが響きも豊かで美しく、とても丁寧に使用されていて、市民に愛されていることがわかります。ホールスタッフの皆さんのホスピタリティには頭が下がりますし、「しっかり演奏でお返ししよう」と出演者と話しています。

── 「みなとみらいクインテット」は藤木さんが横浜のみなとみらいホールのプロデューサー時代に作られましたが、反田恭平、石田泰尚とプロデューサーが代わっても続いています。

僕がプロデューサーの時に「つなぐ、むすぶ、のこす」をコンセプトに、全国のホール企画担当者が魅力的に感じる豪華メンバーによるクインテットを結成して、巡回する提案をしました。今回も豪華なメンバーですよ。前回と同じなのはヴァイオリンの成田達輝さんとヴィオラの川本嘉子さん。もう一人のヴァイオリンは、周防亮介さんから山根一仁さんに、チェロは上村文乃さんから遠藤真理さん、そしてピアノは加藤昌則さんから髙木竜馬さんに代わります。

── 今回、「ムジークフェストなら2025」の主催公演の一つに選ばれました。このメンバーでチケットが2,500円と格安なので、完売は必至ですね。

大和高田は大阪からも京都からも近いです。今回は「ムジークフェストなら」のフライヤーで大きく取り上げて貰っているので、大和高田さざんかホールの存在が広く知られると良いですね。前半にこのメンバーでブラームス「ピアノ五重奏曲」を全曲演奏し、後半は僕も加わってバラエティに富んだプログラムでお楽しみいただきます。

聴衆がその声に浸る 傑出のカウンターテナー

Daichi Fujiki MEG Cover Artist Special Interview

── 後半のプログラムを紹介してください。

僕がこのコンサートのホストとして、喜歌劇「こうもり」より「お客を招くのが好き」を歌う所から始まります。マスカーニ「アヴェ・マリア」、モリコーネ「ネッラ・ファンタジア」、村松崇継「生命の奇跡」などバラエティに富んだ名曲の数々を歌います。「みなとみらいクインテット」と僕の歌が一緒になるとどんな響きが生まれるか、どうぞ会場でお楽しみください。

── 藤木さんは2012年の「日本音楽コンクール」で、初めてカウンターテナーとして優勝されました。それ以降のご活躍もあって、カウンターテナーの概念が大きく変わりました。普段の会話と違う声で歌うのは大変だと思うのですが。

身体を楽器とする僕たち声楽家は、アスリートと同じです。音楽性や経験値は時を重ねることで豊かになりますが、筋肉は確実に衰えます。特にカウンターテナーの寿命は長くないと言われています。僕は自分で衰えを感じ、今まで出来ていたことが出来なくなってまで歌いたいとは思っていません。今はまだ、日々向上している実感があるだけに、ピークを迎えるまでにやれることは全部やりたいと思っています。

── 最後に「MEG関西版」読者の皆さまにメッセージをお願いします。

改めまして「ムジークフェストなら2025」にお招きいただき感謝申し上げます。日本を代表する豪華メンバーによる「藤木大地&みなとみらいクインテット」で、聴き応え十分なプログラムをご用意しました。しかも破格のお値段でお聴きいただけます。どうか大和高田さざんかホールにお越しください。皆さまのご来場をお待ちしています。

◎Interview&Text／磯島浩彰
◎Photo／安田憤一
◎Hairstyling／RINA YAMAHATA

5/31 SATURDAY 【チケット発売中】
**「ムジークフェストなら2025
藤木大地&みなとみらいクインテット」**

■会場／大和高田さざんかホール 大ホール
■開演／14:00　■料金(税込)／一般¥2,500
■お問合せ／さざんかホール TEL.0745-53-8200
※未就学児入場不可 ※託児保育あり(無料・予約制)［申込締切:5月23日(金)］

\スタートの春/ オトナなライブが新しい時代を創る!

かつて日本のミュージックシーンを席巻したトップアーティストたちのライブが目白押しとなる2025年。レジェンドなんて言葉では括れない現在進行形の今と未来を、われわれに示し続けてくれている。懐かしの70年代、80年代から時代を追いかけ続けてきたトップアーティストたちが、令和の時代の新たな世界を構築していく。

山下久美子 Kumiko Yamashita

SPECIAL MESSAGE

── 公演への意気込みをどうぞ!

2025年、Billboard Live大阪でライブできること嬉しくてとても幸せです。今年は、45周年の一年! 長きにわたって愛されている曲満載で最高に楽しいライブにしたいと思います!!

── 最近の元気の源は?

クラフトビールとみんなの笑顔♡ 一日頑張った後にちょっと味にこだわったビールでひとりCheersするのが最近のエネルギー源。そしてライブの後のみんなの笑顔からの乾杯も力みなぎる源です!

── 関西のファンにメッセージをお願いします!

今年もBillboard Liveで弾けます! 幾つになってもステージでジャンプできるように“Miracle”とキャッチーなタイトルつけました!! みんなで時空を超えて楽しみましょう♪ いつもありがとう〜感謝です!

7/11 FRIDAY【5/9(金)〜チケット発売】

「山下久美子 45th Anniversary Special Live “Miracle♥”」

◎ゲスト/大澤誉志幸
■会場/ビルボードライブ大阪 ■開演/[1st stage]17:30 [2nd stage]20:30
■料金(税込)/BOXシート¥19,900 S指定席¥9,400 R指定席¥8,300 カジュアル(1ドリンク付き)¥7,800
■お問合せ/ビルボードライブ大阪 TEL.06-6342-7722

渡辺美里 Misato Watanabe

SPECIAL MESSAGE

昨年はデビュー39周年ということで「サンキュー、ありがとう」を伝えに全国を巡りました。もちろん神戸にもうかがいました。そして今年はジャスト40周年、BITTER☆SWEET ULTRA POP TOUR 2025と題し、究極の選曲でお届けするROCKでPOPなスペシャルライブを行っています。長く応援してくださっている方も、久しぶりという方も、もちろん初めて参加しますという方もきっと楽しんでいただけると思います。この夏、久しぶりに神戸国際会館にうかがいますので、最高で最好を更新しにぜひ会いに来てください。お待ちしています。 〈渡辺美里〉

7/26 SATURDAY【チケット発売中】

「渡辺美里 40周年 BITTER☆SWEET ULTRA POP TOUR 2025」

■会場/神戸国際会館こくさいホール
■開演/17:45
■料金(税込)/全席指定 ¥11,000(前売) [ファミリー席] 大人¥11,000(前売) ※小人無料
■お問合せ/神戸国際会館プレイガイド TEL.078-230-3300 (10:00〜18:00 火曜定休 ※12:00〜13:00は休業)
※3歳以下入場不可

宇崎竜童 Ryudo Uzaki

SPECIAL MESSAGE

── 公演への意気込みをどうぞ!

50年間の音楽活動を2時間、デビューから現在までを歌い尽くします。

── 最近の元気の源は?

阿木sanの手料理(ネーミングをつけられない創作料理がメチャ旨い)と週2回のGYM通い。

── 関西のファンにメッセージをお願いします!

私のコンサートは「鑑賞」なさらずに「参加」して下さい。決して期待を裏切りません。

6/15 SUNDAY【チケット発売中】

「宇崎竜童 弾き語りLIVE 2025 JUST GUITAR JUST VOCAL」

■会場/すばるホール 2階ホール ■開演/15:00
■料金(税込)/全席指定 一般¥6,500 高校生以下¥1,500
■お問合せ/すばるホール総合受付 TEL.0721-26-2060
※未就学児入場不可

ゴダイゴ Godiego

SPECIAL MESSAGE

ゴダイゴにとって神戸といえばポートピアです。楽曲制作が決まった頃から毎月のように神戸に伺い、まだ何も無い工事に取り掛かり始めたポートアイランドへ視察に行き神戸の皆さまと仲良くして頂きました。そしてベースのスティーブが牧師さんになるためにゴダイゴを離れる最後のコンサートも神戸でした。縁が深い神戸でのコンサート。今回は50周年を迎えて、いまだに仲の良いメンバーの笑顔で皆さまをお迎えいたします。See you soon!! 〈ミッキー吉野〉

7/12 SATURDAY【チケット発売中】

「結成50周年 Godiego Live! 2025」

◎プログラム/Monkey Magic, Beautiful name, Gandhara, 銀河鉄道999 ほか ※曲目は変更になる場合がございます
■会場/神戸国際会館こくさいホール ■開演/15:30 ■料金(税込)/全席指定 ¥8,000
■お問合せ/神戸国際会館プレイガイド TEL.078-230-3300(10:00〜18:00 火曜定休 ※12:00〜13:00は休業)
※未就学児入場不可

SPECIAL 対談 加美幸伸×石原卓 ライブで育った 俺たち80's ボーイズ

思春期に洋楽に出会い、ラジオDJ以外の職業は考えられなかったという加美幸伸さんと、情報誌編集長を経て、小紙プロデューサーを務める石原卓が、あの頃のミュージックシーンを振り返る。現代のようにサブスクも配信もなかった時代だが、様々なジャンルの音楽が街中に溢れていて、目から耳から飛び込んで来ていた豊かな時代。学校での話題はテレビやラジオ、そしてレコードで持ちきりだった時代。今のミュージックシーンに多くの影響を与えたあの時代を懐かしんだ。

石原: ここ数年、われわれにとって憧れの往年のトップアーティストによるライブが多くなってきました。日々、ラジオ番組で音楽と接してられる加美さんにとって、この状況ってどう見ていますか?

加美: 往年のっていう感覚はないですね。あの頃憧れたミュージシャンの方々も、今も進化し続けているし、古きモノの焼き直しなんかじゃなく、常に未来に向かって作品を世の中に送り続けて来られたというのは仕事をしていて感じています。だからこそ新しい時代の人にとって新体験となるのが嬉しいですね。山下久美子さんがデビュー40周年を記念して出されたアルバム『愛☆溢れて! 〜Full Of Lovable People〜』というアルバムのライナーノーツを書かせていただきました。僕が「バスルームから愛を込めて」を初めて聴いたのが高校生だったんですけど、この仕事を始めて深夜にタクシー乗っていたらカーラジオからこの曲が流れてきて、一気に思春期のその頃の自分にタイムスリップして、すごい想いが溢れてきたんです。音楽ってそういう機能も持っているんだってびっくりしました。

石原: われわれ世代にとって、そういう聴き方がたまらないですよね。今の若い人にとって、あの頃のサウンドや楽曲ってどう伝わっているんでしょうね?

加美: 宇崎さんのダウンタウンブギウギバンドが無かったら、横浜銀蝿は登場していなかっただろうし、クールス、キャロル、という当時の関西人にとっての憧れの横浜って感じが創り出されなかったと思う。宇崎さんのやっていた番組にまだ無名だった佐野元春さんなんかが出演していたり、その佐野さんのコーラスを白井貴子さんがやっていて、また白井さんのコーラスを渡辺美里さんが担当したという、なんというかシーンにストーリーがあった。そういうドラマ性みたいなものを若い人に伝えて行けばと、いつも思っています。

石原: 確かにあの頃の東京というか全国区のミュージックシーンにはそうした物語性って重要でしたよね。関西とはまったく異質な文化が存在していた時代ですよね。

加美: 関西は関西で、やはり深夜ラジオとライブハウスの功績が大きかったと思うんです。毎晩ラジオから流れてくるから、『ソー・バッド・レビュー』や『サウス・トゥ・サウス』なんかを洋楽と同列で聴いていた感覚でした。当時の大阪の文化の発信地だったアメリカ村やなんかで、ちょっと年上の先輩から情報を仕入れて、レコード店に行って目でジャケットを確認する。それがラジオから流れてきて体幹に染みこんでいく感じ。いてもたってもいられずに情報誌でチェックしてライブで実体験していくというのが関西の音楽シーンの特徴だったのかもしれません。

石原: 確かに東京を中心とする関東、そして関西、そこに加えて福岡の“めんたいロックシーン”という文化圏の明確な違いってありましたよね。

加美: そう。そういう泥臭い関西も良かったんだけど、ちょっとスタイリッシュな関東に憧れて、「ツバキハウス」や「ビテカントロプス・エレクトス」なんかには良く通っていました。関西には無かった独特のコミュニティーがキラキラしていましたね。

石原: あの頃、『ジャムジャム・ロックフェスティバル』ってやっていましたよね。あのイベントで多くのミュージシャンを目撃することができた。

加美: ありました。ラジオ大阪の深夜番組からスピンアウトしたロックフェスで、まさに東西対抗顔見世的な伝説的なフェス。アン・ルイスさんも出演されていて、大きく東西のミュージックシーンが溶け合った扉的な出来事でした。他にも京都大学西部講堂や桃山学院大学での伝説的なライブや、今では考えられない事件とかね(笑)。そういうエピソードも含めて、今当時を席巻したアーティストの皆さんが、令和のライブを積極的にやられるのはすごく応援したいですね。あの時代のストーリーやドラマを知った上で当時僕たちが熱中したサウンドを新しい体験として楽しんでくれたら最高ですね。

◎Text/石原卓

FM COCOLO 加美幸伸ラジオ番組
「MAG:NET FRIDAY」金曜日 11:00〜16:00
「MAG:NET SUNDAY」日曜日 11:00〜13:00

Profile

加美幸伸(かみ ゆきのぶ)/FM COCOLO DJ大阪市出身。ラジオDJとしてのキャリアは30余年。持ち前の探究心と行動力で、音楽・演劇・演芸・アート・スポーツなど多岐のジャンルに精通している。現在は「MAG:NET FRIDAY」(金曜11:00〜16:00)「MAG:NET SUNDAY」(日曜11:00〜13:00)を担当。

石原卓(いしはら まこと)/編集者。神戸市生まれ。情報誌編集者からキャリアをスタート。主にエンターテイメント分野でのインタビューから原稿執筆などで活躍。MEG関西版創刊時よりプロデューサーとして参画。現在は大阪芸術大学短大部教授として後進の育成に取り組んでいる。

海外からレジェンドたちが来日!

[お問合せ(3公演共通)]
ウドー音楽事務所 大阪支社
TEL.06-6341-4506(月・水・金12:00〜15:00)

サラ・ブライトマン Sarah Brightman

世界でいちばん美しい歌がある。心に残る感動のひとときを

7/9 WEDNESDAY・10 THURSDAY
■会場/グランキューブ大阪
■開演/19:00
■料金(税込)/全席指定 S¥22,000 A¥21,000
※6歳未満(未就学児童)の方のご入場は、お断りさせて頂きます

ナイト・レンジャー Night Ranger

ついに迎える最終章。輝かしい歴史の集大成!!

10/14 TUESDAY
■会場/グランキューブ大阪
■開演/19:00
■料金(税込)/全席指定 S¥14,000 A¥13,000
※6歳未満(未就学児童)の方のご入場は、お断りさせて頂きます

マイケル・シェンカー Michael Schenker

©Tallee Savage

UFOでのデビューから50周年を記念しキャリアを網羅したベストヒット構成によるスペシャル公演

'26 1/29 THURSDAY
■会場/フェスティバルホール ■開演/19:00
■料金(税込)/全席指定 S¥16,000 A¥15,000
※6歳未満(未就学児童)の方のご入場は、お断りさせて頂きます

兵庫県立芸術文化センター

TEL.0798-68-0255 《チケット購入・お問合せ　https://www.gcenter-hyogo.jp 《チケット購入OK

4/25 FRIDAY
夜の音楽会 ～今夜は歌声～
高橋 維 ソプラノ・リサイタル
チケット発売中

◎ソプラノ／高橋 維 ◎ピアノ／多田聖子 ◎曲目／モーツァルト・夜の女王のアリア、メンデルスゾーン・春の歌、中田喜直・さくら横ちょう ほか

お一人で、あるいはお連れ様と、またはご家族と良い時間を過ごしに…。金曜日の夜、心身の疲れを癒す素敵な音楽をご堪能いただける約70分・休憩なしのコンサート「夜の音楽会」シリーズ、待望の第2弾は「夜の歌声」。春の夜、最高の劇場空間へ、稀代のコロラトゥーラがお贈りする特別な時間を過ごしにいらっしゃいませんか。

■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール
■開演／18:30　■料金（税込）／全席指定 ¥2,000
■チケット取扱い／下記①②③④　※未就学児入場不可

5/5 MONDAY HOLIDAY
宮川彬良 &アンサンブル・ベガ こどもの日スペシャル♪
チケット発売中

◎ピアノ・お話／宮川彬良 ◎演奏／アンサンブル・ベガ ◎曲目／中山晋平：しゃぼん玉、宮川彬良：室内楽のためのソナタ（ブラック・ジャック）ほか

こどもが主役の「こどもの日スペシャル！」音の魔術師・アキラさんと、アンサンブル・ベガがお贈りするクラシック・コンサートです。超一流の音楽と楽しいトークで、あっという間の一時間。音楽の喜びに満ちあふれた大きなホールで、家族みんなでわいわい楽しく、とっておきの体験をしましょう！

©T.Tairadate

■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール　■開演／14:30
■料金（税込）／全席指定　おとな（中学生以上）¥2,500　こども（3歳～小学生）¥1,000
■チケット取扱い／下記①②③④　※3歳未満入場不可 ※膝上鑑賞不可

5/11 SUNDAY
プロムナード・コンサート
2台ピアノ "アンセットシス" ～176鍵でつづるラプソディー！
チケット発売中

◎出演／アンセットシス［ピアノ、作曲・編曲：山中惇史、高橋優介］ ◎曲目／G.ガーシュウィン（176鍵）：ラプソディー・イン・ブルー ほか

ピアノの鍵盤数である88（鍵）×2（台）=「176」という意味を持つ気鋭のユニット、"アンセットシス"。「母の日」と重なる日曜日、新時代の寵児たちによる、珠玉の映画音楽や、麗しい愛の音色など、音楽への愛に満ちたひとときをお贈りします。

©Takafumi Ueno

■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール
■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定　AV3,000　BY1,000
■チケット取扱い／下記①②③④
※未就学児入場不可

5/17 SATURDAY
仲道郁代 ピアノ・リサイタル「高雅な踊り」
チケット発売中

◎曲目／ショパン：英雄ポロネーズ、ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第24番「テレーゼ」ほか

ベートーヴェン没後200年と自身の演奏活動40周年が重なる2027年に向け、ベートーヴェンを核としたプロジェクト"The Road to 2027"に10年がかりで挑み続けている仲道郁代。8年目となる今回のテーマは「高雅な踊り」です。踊りをモティーフにした魅力溢れるプログラムを、どうぞお楽しみください。

©Kiyotaka Saito

■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール
■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定　AV3,000　BY1,000
■チケット取扱い／下記①②③④
※未就学児入場不可

5/23 FRIDAY ～25 SUNDAY
兵庫芸術文化センター管弦楽団 第159回定期演奏会
プレトニョフ 極上のオールチャイコフスキー
チケット発売中

◎指揮／ミハイル・プレトニョフ ◎ヴァイオリン／前田紀奈 ◎管弦楽／兵庫芸術文化センター管弦楽団 ◎曲目／チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲 ほか

©藤本 崇

©Tera Terasaka

耳に残る美しいメロディの宝庫、チャイコフスキーの名曲揃いのプログラム。ヴィエニャフスキ国際コンクール優勝で注目度急上昇中の前田紀奈をソリストに迎えた「ヴァイオリン協奏曲」と、ピアニスト・指揮者・作曲家として才能を発揮するプレトニョフが自ら特別編集した「白鳥の湖」をお届け。

■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCOメインホール　■開演／15:00
■料金（税込）／全席指定　AV5,000　BV4,000　CV2,500　DV1,000
■チケット取扱い／下記①②③④　※未就学児入場不可

6/7 SATURDAY
ミハイル・プレトニョフ ピアノ・リサイタル
チケット発売中

◎曲目／ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第8番「悲愴」、第14番「月光」、グリーグ：「抒情小品集」より ほか

21歳でチャイコフスキー国際コンクールに優勝後、世界の頂点に君臨し続けてきたミハイル・プレトニョフ。今回は、ベートーヴェン「悲愴」「月光」というあまりに有名なソナタと、グリーグの詩的で美しい「抒情小品集」から選りすぐりの作品をお贈りします。天才・プレトニョフの手により、味わい深いプログラムになることでしょう。

©Irina Shymchak

■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール
■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定　AV5,000　BV4,000　CV3,000　DV2,000
■チケット取扱い／下記①②③④
※未就学児入場不可

6/8 SUNDAY
プロムナード・コンサート
カール=ハインツ・シュッツ（フルート）&吉野直子（ハープ）
チケット発売中

◎曲目／モーツァルト：フルート・ソナタ ハ長調 K.14、ドビュッシー：月の光 ほか

©N.Kasami　©Vjaro Borggreve

ウィーン・フィルのソロ・フルート奏者のカール=ハインツ・シュッツと、世界的のハープ奏者の吉野直子のコンビが話題を呼んだ2023年の華麗なデュオ以来、待望の再登場。フルートとハープの技術の粋を結集したプログラムをご用意いたしました。極上の音楽が、みなさまを夢の世界へ誘います。

■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール　■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定　AV3,000　BY1,000
■チケット取扱い／下記①②③④　※未就学児入場不可

6/14 SATURDAY
兵庫芸術文化センター管弦楽団 室内楽シリーズ85
PAC WINDS!（パック・ウィンズ）
チケット発売中

◎特別ゲスト／パトリック・ウィリアムズ（フルート） ◎出演／PAC木管セクション ◎曲目／R.シュトラウス：13管楽器のためのセレナード ほか

©Shigeki Imura

特別ゲストに、名門・フィラデルフィア管弦楽団の副首席として活躍するパトリック・ウィリアムズ（フルート）を迎え、フルート三重奏や「13管楽器のためのセレナード」まで、様々な編成による木管アンサンブルのスタンダードなレパートリーをお届けします。

■会場／兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院 小ホール
■開演／14:00　■料金（税込）／全席指定　AV3,000　BV2,000
■チケット取扱い／下記①　※未就学児入場不可

6/20 FRIDAY ～22 SUNDAY
兵庫芸術文化センター管弦楽団 第160回定期演奏会
ユベール・スダーン 円熟のベートーヴェン「田園」
チケット発売中

◎指揮／ユベール・スダーン ◎ピアノ／児玉 桃 ◎管弦楽／兵庫芸術文化センター管弦楽団 ◎曲目／ハイドン：ピアノ協奏曲 ほか

©N.Jukagin

©Marco Borggreve

PACと共演を重ねる巨匠、ユベール・スダーンが贈るドイツ・オーストリア音楽。前半はシューベルト・初期の名作「交響曲第5番」と、世界が認める実力派ピアニスト、児玉 桃をソリストに迎えたハイドン「ピアノ協奏曲」。後半は、牧歌的美しさを持つベートーヴェンの交響曲 第6番「田園」をお届けします。

■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール　■開演／15:00
■料金（税込）／全席指定　AV5,000　BV4,000　CV2,500　DV1,000
■チケット取扱い／下記①②③④　※未就学児入場不可

6/20 FRIDAY
世界音楽図鑑
北欧の夏至祭2025 ～ヴェスタノー・バンド
チケット発売中

◎出演／ヴェスタノー・バンド ◎曲目／北欧の「夏至」文化を感じる伝統音楽からオリジナル・ソングまで

北欧の太陽を全身で感じながら、伝統音楽のワクワクする音色を堪能する夜をご一緒しませんか。今回、芸術文化センターでの夏至祭を共に祝うのは、スウェーデンの伝統音楽における精鋭集団。開場中は、北欧マーケットの開催も。ぜひご家族そろって、"太陽の音楽祭"へお越しください。

■会場／兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール　■開演／19:00
■料金（税込）／全席指定　一般¥5,000　中学生以下 ¥2,000
■チケット取扱い／下記①②③④
※4歳以下入場不可 ※本公演はPA機材を使用します

7/19 SATURDAY ～27 SUNDAY
佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ2025
歌劇「さまよえるオランダ人」
チケット発売中

◎指揮／佐渡 裕 ◎演出／ミヒャエル・テンメ ◎出演［ダブルキャスト］／ヨーゼフ・ワーグナー／髙田智宏（オランダ人）、ルニ・ブラッタベルク／妻屋秀和（ダーラント）、シネイド・キャンベル=ウォレス／田崎尚美（ゼンタ）、ロバート・ウトソン／宮里直樹（エリック） ほか

©飯島隆　©Pepe Lange　©takashi Ueno　©深谷義宣

2025年。開館20周年記念、そして佐渡裕芸術監督プロデュースオペラの20作目として上演するのは、オペラ史に燦然と輝く大作曲家ワーグナーの出世作「さまよえるオランダ人」です！ドラマを描き出す序曲から、「オランダ人のモノローグ」「ゼンタのバラード」といった有名なアリアまで、魔法のような音楽とともに繰り広げられる一大スペクタクルがあなたを待っています。ワーグナー初心者にもおすすめ！「愛による救済」が描かれるワーグナー作品の原点を、ぜひお見逃しなく！

■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール　■開演／各日14:00 ※7月22日（火）・25日（金）は休演日
■料金（税込）／全席指定　AY15,000　BY12,000　CY9,000（完売）　DY6,000（完売）　EY3,000（完売）
■チケット取扱い／下記①②③④　※未就学児入場不可

9/7 SUNDAY
プロムナード・コンサート
木嶋真優の「四季」&JAZZ
チケット発売中

◎出演／木嶋真優、MAYUフェス アンサンブル in HYOGO（第1部のみ）、ピアノ大林武司（第2部のみ） ほか ◎曲目／ヴィヴァルディ：「四季」（全曲）、ボレロ ほか

©Kazumi Kanigami

つねに最前線で活躍するヴァイオリニスト、木嶋真優。開館20周年を華やかに彩るべく、クラシックとジャズ、どちらもご堪能いただけるスペシャル・プログラムが実現しました！木嶋真優の"現在"がぎゅっとつまった2時間。MAYUフェス in Hyogo、ぜひ一緒に楽しみましょう！

■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール
■開演／14:00　■料金（税込）／全席指定　AV3,000　BY1,000
■チケット取扱い／下記①②③④　※未就学児入場不可
※本公演は第2部のみPA機材を使用します

10/18 SATURDAY
プロムナード・コンサート アンサンブル
菊池洋子（ピアノ）と郷古 廉（ヴァイオリン） N響の名手たち
チケット発売中

◎出演／菊池洋子、郷古 廉、村尾隆人、村上淳一郎、中 実穂、本間凌朋 ◎曲目／ショパン：ピアノ協奏曲 第1番（室内楽版）、シューベルト：ピアノ五重奏曲「ます」

©Yuji Hori

©Hisao Suzuki

サロン風コンサートでショパンの魅力に迫る前半と、ウィーン出身のシューベルトの作品を、ウィーン在住の菊池洋子と、NHK交響楽団の第1コンサートマスターを務める若きヴァイオリニスト・郷古 廉、そしてN響の名手たちが奏でる後半。ショパンの命日翌日に贈る、極上のコンチェルトをお楽しみください。

■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール　■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定　AV4,000　BV3,000　CV2,000　DV1,000
■チケット取扱い／下記①②③④　※未就学児入場不可

11/15 SATURDAY
クラウス・マケラ指揮
ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団
チケット発売中

◎指揮／クラウス・マケラ ◎管弦楽／ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団 ◎曲目／R.シュトラウス：交響詩「ドン・ファン」、マーラー：交響曲 第5番

今、音楽界に旋風を巻き起こしている20代の指揮者クラウス・マケラ。世界中の一流オーケストラからオファーが絶えず、活躍が止まらないこの若い指揮者が、いかに多くの人の心をつかみ、素晴らしい音楽を創り上げているのか。そして世界トップオーケストラの一つ、コンセルトヘボウ管弦楽団の輝くサウンドとは。ぜひ会場で、体感してください。一生の宝物になるかも知れません。

©Marco Borggreve

©Eduardas Lee

■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール　■開演／15:00
■料金（税込）／全席指定　AY32,000　BY28,000　CY24,000　DY20,000　EY16,000　FY12,000
■チケット取扱い／下記①②③④　※未就学児入場不可

チケット取扱い
①兵庫県立芸術文化センターチケットオフィス ☎0798-68-0255（10:00～17:00 月曜休 ※祝日の場合翌日）https://www.gcenter-hyogo.jp
②チケットぴあ https://t.pia.jp　③ローソンチケット https://l-tike.com　④イープラス https://eplus.jp

2025年、PACは設立20周年を迎えます！ 20th anniversary

兵庫芸術文化センター管弦楽団 定期演奏会 2025.9▸2026.8

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール

芸術監督 佐渡 裕 Artistic Director Yutaka Sado

©飯島隆

おトクな定期会員券（9回通し券）好評発売中！※5月末まで

「金曜通し券」「土曜通し券」「日曜通し券」をお選びいただき、同じお席で年間9回の定期演奏会をご鑑賞いただきます。

	定期会員券（9回）		1回券
A	¥32,400	（1回分単価 ¥3,600）¥12,600おトク！	¥5,000
B	¥27,000	（1回分単価 ¥3,000）¥9,000おトク！	¥4,000
C	¥19,800	（1回分単価 ¥2,200）¥2,700おトク！	¥2,500
D	――		¥1,000

（全て税込）

定期会員だけの特典はこちら！

- 特典1 1回券よりもお得な料金設定
- 特典2 室内楽演奏会を特別料金で
- 特典3 オーケストラ紹介パンフレットを進呈
- 特典4 公開リハーサルへご招待 ※定期会員券を複数セットご購入いただいた場合、公開リハーサルのご案内は購入者ご本人にのみ郵送いたします。予めご了承ください。
- 特典5 PACオリジナル・グッズをプレゼント

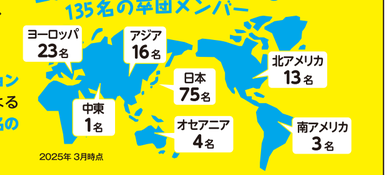
※D席は1回券のみの取り扱いとなります。※1回券は6月より順次発売を開始します。※定期会員券の発売は**5月末**をもって終了いたします。期間内でも各日予定枚数に達し次第、販売を終了させていただきます。※定期会員券をお求めいただくと先行予約会員にもご入会いただきます。※未就学児の入場はご遠慮ください。※やむを得ない事情により、出演者、曲目等が変更となる場合があります。予めご了承ください。

［お知らせ］2025年4月1日より、チケットにかかる手数料を一部改定しました。詳しくはウェブサイトでご確認ください。

PACは世界中から選抜された若いメンバーによる、国際色豊かでフレッシュなオーケストラです！

兵庫芸術文化センター管弦楽団（PAC）は世界でも稀な**アカデミー機能**を持つオーケストラ。**国内外のオーディションで選ばれた入団時35歳以下の音楽家たち**が最長3年の在籍期間中に、定期演奏会やオペラ等の公演、ゲスト奏者によるコーチングを通じて、オーケストラ奏者としての腕を磨きます。現在は**アジアや欧米など12ケ国から集まった41名のメンバー**が在籍。西宮から次のステップを目指して日々奮闘する若いメンバーたちを、ぜひ応援してください！

世界29の国と地域で活躍する135名の卒団メンバー



2025年 3月時点

設立20周年のPAC（パック）オーケストラが豪華指揮者&ソリストと挑戦する多彩なプログラム

各日 3:00PM 開演

No.162 2025 9/12（金）13（土）14（日） 開館20周年記念
〈オール・ブルックナー・プログラム〉
交響曲 第0番
合唱曲「キリストは従順であられた」
テ・デウム
指揮・芸術監督 佐渡 裕　ソプラノ 並河寿美　メゾソプラノ 清水華澄　テノール 小原啓楼　バリトン 青山 貴

No.163 2025 10/10（金）11（土）12（日）
メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲
シューベルト：交響曲 第8（9）番「ザ・グレイト」
指揮 アントニアス・オッテンサマー　ヴァイオリン ウェロニカ・エーベルレ

No.164 2025 11/7（金）8（土）9（日）
モーツァルト：交響曲 第1番
ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第4番
ブラームス：交響曲 第1番
指揮 ザッシャ・ゲッツェル　ピアノ 河村尚子

No.165 2025 12/12（金）13（土）14（日） 開館20周年記念
ベートーヴェン：交響曲 第9番「合唱付き」
指揮・芸術監督 佐渡 裕　ソプラノ ハイディ・ストーパー　メゾソプラノ 清水華澄　テノール リッカルド・デッラ・シュッカ　バリトン クスターボ・カスティーリョ

No.166 2026 1/23（金）24（土）25（日）
ガーシュウィン：ピアノ協奏曲
バルトーク：管弦楽のための協奏曲
指揮・芸術監督 佐渡 裕　ピアノ 上原ひろみ

No.167 2026 2/20（金）21（土）22（日）
コルンゴルト：劇的序曲
ヴァイオリン協奏曲
武満徹：3つの映画音楽
プロコフィエフ：「ロメオとジュリエット」組曲より
指揮 原田慶太楼　ヴァイオリン レイ・チェン

No.168 2026 3/13（金）14（土）15（日）
シベリウス：交響詩「ポヒョラの娘」
プロコフィエフ：交響的協奏曲
シベリウス：交響曲 第2番
指揮 ピエタリ・インキネン　チェロ 北村 陽

No.169 2026 6/12（金）13（土）14（日）
メンデルスゾーン：序曲「ルイ・ブラス」
シューマン：ヴァイオリン協奏曲
R.シュトラウス：家庭交響曲
指揮 下野竜也　ヴァイオリン 五明佳廉

No.170 2026 8/7（金）8（土）9（日）
コープランド：リンカーンの肖像
バーンスタイン：ミュージカル「ウエスト・サイド・ストーリー」より シンフォニック・ダンス
マーラー：交響曲 第1番「巨人」
指揮・芸術監督 佐渡 裕

ご予約・お問い合わせ
芸術文化センターチケットオフィス
0798-68-0255［10:00AM～5:00PM 月曜休み※祝日の場合翌日］
http://www.gcenter-hyogo.jp

PAC公式SNS
Facebook @HPAOrchestra
X（旧Twitter） @hpac_orchestra
Instagram @hpac_orchestra

読売テレビ

https://www.ytv.co.jp/event/

MANY DAYS ジモトメシ!! ～SOUL FOOD CARNIVAL～

チケット発売中

日本各地の"ジモトメシ"が一堂に会し、一か所で全国の食の魅力を再発見できる新しい食フェス誕生! テレビで取り上げられるような"あんなところ"の"あんなご飯"をご堪能!
そして、5/2（金）～5/6（火・休）は、各地の人気ブリュワリーを集めてきたクラフトビールフェス「ビア・ブラボー！」も応援参加し、「"ジモト"のビール×グルメ」の組み合わせもご提案!
他にもエンタメステージや謎解きなども楽しめる!
ゴールデンウィークは、万博記念公園で「行ったつもりの全国グルメ旅」を是非お楽しみください!

〈開催期間〉
◎4月25日（金）～29日（火・祝）
5月2日（金）～6日（火・休）

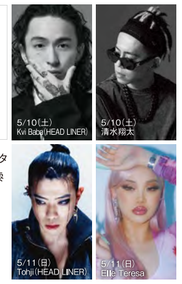
■会場／万博記念公園 お祭り広場・下の広場
■時間／各日9:30～17:00（ラストオーダー16:30）　■料金（税込）／［前売・当日］¥200 ※小学生以下入場無料
■チケット取扱い／下記①②③④⑦　■Pコード／995-417　■Lコード／53274
■お問合せ／キョードーインフォメーション TEL.0570-200-888（12:00～17:00 土日祝休業）　※別途、万博記念公園入園料必要

5/10 SATURDAY 5/11 SUNDAY KOBE MELLOW CRUISE 2025

チケット先行受付中

◎出演／［5月10日（土）］Kvi Baba、betcover!!、田我流 -Band Set-、Daichi Yamamoto, dodo、どんぐりず、G-k.i.d、Kaneee、KM、lilbesh ramiko、柴田聡子、清水翔太、Skaai、鈴木真海子、tofubeats、swetty（opening act）and more［5月11日（日）］Tohji、Bonbero、ElleTeresa、GADORO、Gottz&MUD、in-d、IO、JUBEE、Kohjiya、kZm、lil soft tennis、7.NENE、Novel Core、OZworld、SKRYU、Tokyo Young Vision、Charlu（opening act）and more

都市部からアクセス抜群!海風感じる心地良い空間の中で、音楽・ファッション・フード・アートなど様々なカルチャーをクルージングするように贅沢に楽しめる。文化を発信してきた港町・神戸を象徴するポートタワーの麓、メリケンパークで開催する都市型野外音楽フェス。詳しくは「メロクル」で検索



■会場／神戸メリケンパーク　■開演／各日11:00
■料金（税込）／2DAYS TICKET¥23,000　1DAY TICKET¥12,000
※その他グッズ付きやVIPチケットも!
■チケット取扱い／下記③
■お問合せ／キョードーインフォメーションTEL.0570-200-888（12:00～17:00 土日祝休業）
※小学生以上はチケット必要。未就学児（6歳未満）は保護者同伴に限り、保護者1名につき1名のみ入場可。ただし、エリア制限有り

8/15 FRIDAY ～20 WEDNESDAY 丸美屋食品ミュージカル「アニー」

4/27（日）～チケット発売

◎出演／丸山果里菜/小野希子（アニーWキャスト）、藤本隆宏（ウォーバックス）、須藤理彩（ハニガン）、愛原実花（グレース）、赤名竜乃介（ルースター）、浜崎香帆（リリー）ほか

愛され続けて40年!今年もアニーがやってくる「トゥモロー」や「ハードノックライフ」など一度聴いたら忘れられない音楽や、孤児のアニーの大活躍が人気で、日本でも1986年以降、これまで195万人を超える人々を魅了してきた国民的ミュージカル「アニー」。厳しいオーディションを勝ち抜いた2人のアニーが、今年もあなたに笑顔を贈ります。何度観ても観たくなる、心に響く舞台をぜひお楽しみください!

◎5/10（土）16:25～16:55〈読売テレビ〉
「アニー」特別番組放送決定!
※一部放送されない地域がございます ※内容は変更になる場合がございます

■会場／梅田芸術劇場シアタードラマティ　■開演／11:00、15:30
■料金（税込）／全席指定 ¥9,800　■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥
■お問合せ／キョードーインフォメーション TEL.0570-200-888（12:00～17:00土日祝休業）
※4歳未満入場不可

6/21 SATURDAY 6/22 SUNDAY X Games Osaka 2025

チケット発売中

アクションスポーツ界で最も注目される国際競技大会「Xゲームス」が、関西初上陸! 2025年6月20日（金）～22日（日）の3日間、スケートボード、BMX、Moto X（フリースタイルモトクロス競技のモトエックス）の世界トップアスリートたちが「京セラドーム大阪」に集結します。今大会には世界11カ国・80名が出場決定。五輪代表の白井空良、吉沢恋、赤間凛音、西矢椛、開心那をはじめ、「トニー・ホーク・バート・アラート」で「900（2回転半）」を連続3回成功させた河上恵蒔も出場決定。大阪府の小中学生は、大人1名につき最大3名まで無料招待! 詳しくは公式ホームページをCHECK!

■会場／京セラドーム大阪　■時間／決勝［6月21日（土）・22日（日）］各日9:45
■料金（税込）／VIP席¥100,000　プレミアム¥35,000　SS¥12,000
［アリーナ］一般¥5,800　グループ席（4名1組）¥20,000　高校生¥3,000　小中学生2,000　［スタンド］一般¥4,800
■チケット取扱い／下記①②③⑪
■お問合せ／X Games Osaka 2025大会事務局（イープラス内）TEL.050-3185-6449（10:00～18:00）［6月22日（日）まで受付］
※小学生未満（未就学児）は、保護者1名につき1名まで膝上観戦が無料となります
※一般入場は土曜と日曜の2日間 ※6月20日（金）は予選日となっておりー般のチケット販売はございません
※車いすをご利用の方は、「スタンド」以外のいずれかのチケットをご購入ください。お付き添いの方も同等のチケットをご購入ください

6/28 SATURDAY アリス=紗良・オット ピアノ・リサイタル

チケット発売中

◎曲目／ベートーヴェン:ピアノソナタ 第14番「月光」・ピアノソナタ 第30番、ジョン・フィールド:ノクターン選集 ほか

日本とドイツの血をひくピアニスト・アリス=紗良・オット、ベートーヴェンはドイツ人である彼女にとって最も重要なレパートリーで、「月光」後期ソナタの傑作「第30番」という待望のプログラム。それに、ノクターンの創始者といわれ、ショパン・リストにも影響を与えたジョン・フィールドの夜想曲（ノクターン）選集を加えた珠玉のコンサート。難病を乗り越え、再び世界を駆け巡り、成功をおさめるアリス、9年ぶりの西宮でのコンサートをお楽しみに!

© Hannes Casper / Deutsche Grammophon

■会場／兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール
■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定 A¥7,800　B¥6,800　S¥~~9,800~~（完売）
■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥
■Pコード／286-005　■Lコード／55169
■お問合せ／キョードーインフォメーション TEL.0570-200-888（12:00～17:00 土日祝休業）
※未就学児入場不可

6/23 MONDAY エリーナ・ガランチャ メゾソプラノ リサイタル 2025

チケット発売中

◎メゾ・ソプラノ／エリーナ・ガランチャ ◎ピアノ／マティアス・シュルツ
◎曲目／ビゼー:歌劇「カルメン」より"ハバネラ"、サン=サーンス:歌劇「サムソンとデリラ」より"あなたの声で私の心も開く"、ブラームス、ラフマニノフ厳選歌曲集 ほか

世界最高峰の歌姫・エリーナ・ガランチャが3年ぶりに大阪へ。世界的音楽誌「GRAND OPERA」でも、ネトレプコ、フリットリを押さえ、堂々の1位を獲得、3年前の来日でも、評論家の絶賛を浴びるなど、オペラ界のトップを走り続けるメゾ・ソプラノの女王。今回も得意の「カルメン」をはじめ、異次元の歌唱を聞かせる。これぞ、正真正銘の「大歌手」の歌声を体験しませんか?

■会場／ザ・シンフォニーホール
■開演／19:00
■料金（税込）／全席指定 SS¥19,000　S¥15,000　A¥13,000
■チケット取扱い／下記①②③④
■Pコード／291-988　■Lコード／52638
■お問合せ／キョードーインフォメーション TEL.0570-200-888（12:00～17:00 土日祝休業）
※未就学児入場不可

6/14 SATURDAY ～8/24 SUNDAY 正倉院 THE SHOW 感じる。いま、ここにある奇跡

チケット発売中

正倉院1300年の物語を歩く展覧会。
奈良、東大寺旧境内にある正倉院は、約9000点の宝物を1300年近く地上で守り伝えた"奇跡の宝庫"です。
本展は、最新のデジタル技術を駆使した演出や、宝物の世界に包まれる空間など新しい「正倉院」を体感いただける展覧会です。
長い歴史を紡ぎ、そして未来へ紡がれる「正倉院という物語」の世界へぜひお越しください。

■会場／大阪歴史博物館
■時間／9:30～17:00（入館は閉館の30分前まで）
※火曜休館、ただし8月12日（火）は開館
■料金（税込）／大人¥1,800（当日¥2,000）
高大生¥1,300（当日¥1,500）
小中生800（当日¥1,000）
■チケット取扱い／下記①②③④⑥⑦
■お問合せ／なにわコール TEL.06-4301-7285（8:00～21:00無休）

3/7 FRIDAY ～6/8 SUNDAY モネ 睡蓮のとき

チケット発売中

印象派が誕生して150年 巨匠クロード・モネの作品およそ50点が厳選され、一堂に会する。世界最大のモネ・コレクションを所蔵するパリのマルモッタン・モネ美術館より、日本初公開となる7点を含むおよそ50点が来日。さらに日本各地に所蔵される作品も加え、モネ晩年の芸術の極致を紹介します。本展の中心となるのは、2mを超える大画面の〈睡蓮〉の数々です。日本では過去最大規模の〈睡蓮〉が集う貴重な機会となります。4月25日まで夕方4時以降に来場された方にオリジナルステッカーをプレゼント中です。

■会場／京都市京セラ美術館 本館 北回廊1階・南回廊1階
■時間／10:00～18:00（入場は17:30まで）
※月曜休館、ただし4月28日（月）、5月5日（月・祝）は開館
■料金（税込）／一般¥2,300（団体¥2,100）
大学生・高校生¥1,700（団体¥1,500）　中学生・小学生¥1,000（団体¥800）
■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩
■Pコード／687-094　■Lコード／52087
■お問合せ／京都市京セラ美術館 TEL.075-771-4334
※予約優先制、混雑時にご予約のない方は入場をお待ちいただく場合があります
詳しくは公式サイトをご確認ください

チケット取扱い　①チケットぴあ https://t.pia.jp　②ローソンチケット https://l-tike.com　③イープラス https://eplus.jp　④CNプレイガイド［オールジャンル］☎0570-08-9999［クラシック］☎0570-08-9990 https://www.cnplayguide.com/
⑤楽天チケット https://r-t.jp/　⑥セブンチケット https://7ticket.jp/　⑦アソビュー! https://www.asoview.com/　⑧e-tix https://www.e-tix.jp　⑨ART PASS https://www.art.passes.jp/
⑩京都市京セラ美術館 https://kyotocity-kyocera.museum/　⑪日テレゼロチケ https://l-tike.com/ntvzero/

フェニーチェ堺

TEL.072-223-1000 《お問合せ　https://www.fenice-sacay.jp/ 《チケット購入OK

9/27 SATURDAY チョン・ミョンフン指揮 ミラノ・スカラ座フィルハーモニー管弦楽団 ピアノ:藤田真央

4/26（土）～チケット発売

◎曲目／ヴェルディ:歌劇「運命の力」序曲、ラフマニノフ:ピアノ協奏曲 第2番 ハ短調 作品18（ピアノ:藤田真央）、チャイコフスキー:交響曲 第6番 ロ短調 作品74「悲愴」

©Silvia Lelli

Johanna Berghom ©Sony Music Entertainment

©Giovanni Hänninen

イタリアが誇るオーケストラによる、めくるめく音楽体験!

ヨーロッパを代表する名門歌劇場のオーケストラが、12年ぶりに大阪へ! アルトゥーロ・トスカニーニ、クラウディオ・アバド、リッカルド・ムーティら錚々たる指揮者がつないできた"絹のようなしなやかさ"を誇る演奏が、優美な音色を響かせます。
指揮には世界の有力オーケストラで音楽監督などを歴任し、2023年からミラノ・スカラ座フィルハーモニー管弦楽団の名誉指揮者を務めるチョン・ミョンフン。ソリストには国際的に活躍し、2023年にはカーネギー・ホールでのソロリサイタルを成功させ話題となったピアニスト藤田真央を迎えます。
ピアニストとしても今名をはせた巨匠と、ますます声望を高める若き才能による豪華共演は見逃すことができません。
世界最高峰と賞されるオペラの殿堂で、名だたる指揮者たちと演奏を繰り広げてきたオーケストラが紡ぐ、ぜいたくなひとときに酔いしれてください。

■会場／フェニーチェ堺 大ホール
■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定 SY29,000　A¥26,000　B¥19,000　注釈付席¥10,000
■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥
■Pコード／296-825
■Lコード／55973
※未就学児入場不可
※やむを得ない事情により内容が変更となる場合があります

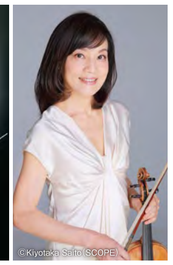
6/28 SATURDAY 大阪交響楽団「フェニーチェ堺 名曲シリーズ Vol.3」

チケット発売中

◎曲目／ブルッフ:ヴァイオリン協奏曲 第1番 ト短調 作品26、ブラームス:交響曲 第1番 ハ短調 作品68

大阪交響楽団が"初めて聴いてもきっと心に残る佳曲"をセレクトしてお届けする、「名曲シリーズ」の第3弾。Newsweek誌で「世界が尊敬する日本人100人」に選ばれたこともある指揮者・三ツ橋敬子のもと、ストラディヴァリウス"デュランティ"との運命的な出会いを果たし、話題になったヴァイオリニスト・千住真理子をソリストに迎えます。

©Earl Ross


©Kiyotaka Saito/SCOPE

■会場／フェニーチェ堺 大ホール
■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定 SS¥4,500（予定枚数終了）
S¥3,300　A¥2,800
■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥
■Pコード／290-149
■Lコード／57395
※未就学児入場不可
※やむを得ない事情により内容が変更となる場合があります

6/4 WEDNESDAY 6/5 THURSDAY ブルノ国立劇場 母 Mother

チケット発売中

チェコ演劇を代表するブルノ国立劇場ドラマ・カンパニーが来日。何度もノーベル賞候補となったチェコの国民的作家にして劇作家のカレル・チャペックの名作を、関西初上演します。混沌とした時代を懸命に生きた父と息子たち、そして母の愛と葛藤を描くストーリー。

ブルノ国立劇場提供

■会場／フェニーチェ堺 小ホール
■開演／［6月4日（水）］19:00　［6月5日（木）］15:30
■料金（税込）／全席指定 ¥5,000　■チケット取扱い／下記①②③④
■Pコード／532-655　※未就学児入場不可
※やむを得ない事情により内容が変更となる場合があります

6/21 SATURDAY トマシュ・リッテル 演奏会

チケット発売中

◎曲目／ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第14番 嬰ハ短調 Op.27-2「月光」、モーツァルト:ピアノ・ソナタ 第6番 ニ長調 K.284 ほか

古楽界の2大コンクール「ショパン国際ピリオド楽器コンクール」「ブルージュ国際古楽コンクール」をともに制した俊英トマシュ・リッテルがフォルテピアノで奏でる、珠玉の古典派音楽プログラム。

©T.ZYDATISS

■会場／フェニーチェ堺 大スタジオ　■開演／15:00
■料金（税込）／自由席 ¥4,000
■チケット取扱い／下記①②③④　■Pコード／291-586
※未就学児入場不可
※やむを得ない事情により内容が変更となる場合があります

7/2 WEDNESDAY 英国バーミンガム・ロイヤル・バレエ団「眠れる森の美女」（全3幕 プロローグ付）

チケット発売中

◎音楽／チャイコフスキー ◎振付／マリウス・プティパ、レフ・イワーノフ、ピーター・ライト ◎演出／ピーター・ライト ◎装置・衣裳／フィリップ・プラウズ ◎出演／セリーヌ・ギッテンス（オーロラ姫）、ヤシエル・ホデリン・ペロ（フロリムンド王子）

世界有数のバレエカンパニー〈英国バーミンガム・ロイヤル・バレエ団〉が、7年ぶりに来日!チャイコフスキーの美しい調べが彩る3大バレエ「眠れる森の美女」を、ロイヤルバレエの正統たるピーター・ライト版の演出で。

© Tristram Kenton

■会場／フェニーチェ堺 大ホール
■開演／18:30
■料金（税込）／全席指定 プラチナ¥24,000（予定枚数終了）
SY22,000　A¥18,500　B¥15,000　C¥9,000
■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥
■Pコード／531-624
■Lコード／53499
※未就学児入場不可
※やむを得ない事情により内容が変更となる場合があります

5/10 SATURDAY 海外バレエカンパニーの魅力と秘密 ～英国とドイツの事例～

チケット発売中

◎出演／大石裕香、山本康介 ◎聞き手／八木早希

「英国バーミンガム・ロイヤル・バレエ団」公演の見どころを先取り! 世界の第一線で活躍してきたダンサー、大石裕香（元ハンブルク・バレエ団）と山本康介（元英国バーミンガム・ロイヤル・バレエ団）の両氏を迎え、本場ヨーロッパのバレエ事情や、国ごとに異なる特徴などをたっぷりと解説。7月に上演する「眠れる森の美女」鑑賞のポイントも。

■会場／フェニーチェ堺 大スタジオ　■開始／13:30
■料金（税込）／自由席¥2,300　■チケット取扱い／下記①②③
※未就学児入場不可 ※やむを得ない事情により内容が変更となる場合があります

11/16 SUNDAY 全国共同制作オペラ 歌劇「愛の妙薬」（全2幕 新制作）

6/14（土）～チケット発売予定

◎演出／杉原邦生 ◎指揮／セバスティアーノ・ロッリ ◎管弦楽／大阪交響楽団 ◎出演／高野百合絵（アディーナ）、宮里直樹（ネモリーノ）、大西宇宙（ベルコーレ）、セルジオ・ヴィターレ（ドゥルカマーラ博士）ほか ◎演目／ガエターノ・ドニゼッティ:歌劇「愛の妙薬」（全2幕）イタリア語上演、日本語・英語字幕付き

東京芸術劇場×フェニーチェ堺×ロームシアター京都

全国の劇場・音楽堂、芸術団体等が連携し、単館では成しえない、独創的かつ高いレベルのオペラを新演出で制作するプロジェクト〈全国共同制作オペラ〉。今回は喜歌劇（オペラ・ブッファ）の傑作「愛の妙薬」を上演します!
美人で聡明、ちょっと勝ち気な娘アディーナと、彼女に恋する純真無垢な青年ネモリーノが、偽の惚れ薬"愛の妙薬"によって結ばれるロマンティック・コメディ! テノール屈指の名アリア「人知れぬ涙」をはじめ、「受け取って、私のおかげであなたは自由」「この薬はなんでも治します」などの名曲が、コミカルでちょっと切ない恋物語を美しく彩ります。太田省吾に師事し、ギリシャ悲劇からスーパー歌舞伎の演出まで幅広く手掛けてきた杉原邦生が初のオペラ演出に挑みます。指揮は、ベルカントオペラのスペシャリストとして名高いセバスティアーノ・ロッリ。日本&海外混成による新進気鋭の歌手陣とともに織りなす、最高にハッピーでかわいい「愛の妙薬」が、いま幕をあける…!

撮影:細野晋司

■会場／フェニーチェ堺 大ホール　■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定 SY13,000　A¥11,000　B¥9,000　C¥5,000
■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥
※未就学児入場不可 ※やむを得ない事情により内容が変更となる場合があります

チケット取扱い　①堺市文化振興財団チケットセンター ☎0570-08-0089　②フェニーチェ堺公式HP https://www.fenice-sacay.jp/　③フェニーチェ堺総合窓口（9:00～20:00 第1・3月曜日休館）堺市堺区翁橋町2-1-1
④チケットぴあ https://t.pia.jp　⑤ローソンチケット https://l-tike.com　⑥イープラス https://eplus.jp

大阪4オーケストラ クラシックの広場

Osaka 4major Orchestras
Plaza of Classical Music

大阪を拠点に活動する4つのプロのオーケストラが“クラシック音楽の魅力”をお届けします。
貴方も気軽にオーケストラと、オーケストラの奏でる素晴らしい音楽に触れてみませんか?!

大阪フィルハーモニー交響楽団

TEL.06-6656-4890 http://www.osaka-phil.com

5/16 FRIDAY 5/17 SATURDAY 第588回定期演奏会

■チケット発売中

©Gerhard Kuehne

©Caroline Doutre

◎指揮／ゲオルグ・フリッチュ ◎ピアノ／ミシェル・ダルベルト ◎曲目／ウェーバー:歌劇「オイリアンテ」序曲、シューマン:ピアノ協奏曲、R.シュトラウス:交響的幻想曲「影のない女」 ほか

5月の定期演奏会の指揮者はドイツの歌劇場を中心にキャリアを築いてきたゲオルク・フリッチュ。ドイツ・オーストリアの名曲をお届けいたします。特に「影のない女」は3時間を超える長大なオペラ作品の聴きどころをオーケストラ用に20分余りにまとめたもので、シュトラウスのオペラをレパートリーとするマエストロとの指揮で演奏できるのが楽しみです。ソリストはNHK教育テレビ「スーパーピアノレッスン」出演でも知られるミシェル・ダルベルト。クララ・ハスキル国際コンクール優勝から今年で50年。円熟のシューマンにご期待ください。

■会場／フェスティバルホール
■開演／5月16日(金)19:00 5月17日(土)15:00
■料金(税込)／全席指定 A¥7,000 B¥5,500 C¥3,500 Box¥8,000 学生(25歳以下・学生)¥1,000
※未就学児入場不可

取扱い ①大阪フィル・チケットセンター ☎06-6656-4890 ②チケットぴあ https://t.pia.jp ③イープラス https://eplus.jp ④フェスティバルホール ☎06-6231-2221

事務局長 **福山修**&演奏事業部長 **山口明洋**

大阪フィルの事務局トップ2が語る、大阪フィルの現在地

■SPECIAL INTERVIEW

── 尾高体制も8年目に突入です。

福山 修: 朝比奈隆の後、大植英次、井上道義と個性豊かなシェフが続き、「次期監督は尾高忠明!」と発表した際に、尾高マエストロの「実直な正統派」というイメージから、相性をみ配する声もありましたが、私は尾高マエストロのパッションと大阪フィルとの相性の良さを以前から感じていましたので、全く心配していませんでした。今の大阪フィルの演奏を聴いていただければ、それが良く分かっていただけると思います。

── 昨年10月、原田慶太楼が指揮した「ソワレ・シンフォニー」で、小曽根真の弾くガーシュイン「ヘ調の協奏曲」のアンコールには驚きました。あんな洒落たことを大阪フィルが出来るなんて(笑)。

山口明洋: 小曽根真さんがアンコールピースを弾いていると、指揮台に腰かけて静かに聴いていた原田さんが、突然立ち上がってタクト一閃、オーケストラがバーンと入ってきて、凄まじいグループ感で第一楽章の集結部を再演。会場は大いに沸きました。あれはゲネプロの時に原田さんが「アンコールやりそうだったら、僕の合図でこちら弾いてね!」と一言だけ。それだけで客席を興奮のるつぼに持って行けるのが今の大阪フィルです。メンバーのアンテナの感度が鋭敏で、豪快なアプローチが活きるようになりました。

── 大阪フィルは、かつての重厚なサウンドに加え、高度な技術やアンサンブル能力を備えた高性能のオーケストラに転身しましたね。

山口: 昔から、朝比奈のブルックナーやベートーヴェンは聴き逃せませんよ。大植英次のマーラーも、井上道義のショスタコーヴィチは名演の宝庫ですリといった具合に説明を加える必要が有りました。今は指揮者やプログラムに関係なく、どの定期演奏会も聴衆の期待に応えられると確信しています。作品の個性と長年の伝統による大阪フィルの個性がミックスする形でお届けは出来ている。他のオケでは体験できませんね。

福山: ベートーヴェンから始まって、ブラームス、チャイコフスキー、フランス音楽などもテーマにしたシリーズを毎年企画し、そこで培った

左から山口明洋(演奏事業部長)、福山 修(事務局長)
朝比奈隆(創立名誉指揮者)を挟んで

力を限界まで引き出してくれるマエストロを招くようになりました。もうフランス音楽やメンデルスゾーンに挑みます! という段階ではなく、作品の素晴らしさをしっかりと聴衆に届けられるレベルに到達したと思います。今年、改めてベートーヴェン・チクルスに取り組み、原点に立ち返ると共に、定期演奏会では様々な作曲家の作品をバラエティ豊かなプログラミングで皆さまにお届けします。

── では、ここ2、3回の定期演奏会の聴き所を教えてください。

山口: 「皆さまが知らない曲こそぜひ聴いてほしいです」。レパートリーは膨大で、名作が沢山あるだけに「皆さまがパスしている時に決まって、名演が生まれています」ともお伝えさせてください。5月定期では、ドイツの歌劇場で叩き上げの職人のようなゲオルク・フリッチュが指揮するR.シュトラウスの歌劇「影のない女」の交響的幻想曲は、演奏機会の少ない曲ですので必聴です。ミシェル・ダルベルトのシューマンもオススメします。6月定期には、ウラディーミル・フェドセーエフが登場。お得意のチャイコフスキーから交響曲 第1番「冬の日の幻想」をお聴きください。7月定期は、若手実力派のダンカン・ウォードが登場。ドビュッシーの舞踊詩「遊戯」は、大変繊細な作品です。オーケストラが醸し出す空気の変化に注目してください。

福山: 現在考え得る最高のプログラムを並べました。皆さまのご来場をお待ちしています。

◎Interview&Text／磯島浩彰

関西フィルハーモニー管弦楽団

TEL.06-6115-9911 https://kansaiphil.jp

6/7 SATURDAY 関西フィルハーモニー管弦楽団 住友生命いずみホールシリーズVol.60 鈴木優人のベートーヴェン・ヒストリー1

■チケット発売中

©Marco Borggreve

©武藤 章

◎指揮&お話／鈴木優人(首席客演指揮者) ◎フォルテピアノ／上原彩子 ◎曲目／ベートーヴェン:序曲「レオノーレ」第3番 作品72b、ピアノ協奏曲 第1番 ハ長調 作品15、交響曲 第1番 ハ長調 作品21

2027年のベートーヴェン没後200年に向けた大型企画が始動!交響曲全9曲を軸に、1年度3公演、3年間でその生涯をたどります。シリーズの幕開けは大規模で高い完成度を誇る序曲「レオノーレ」第3番。実は鈴木優人が人生で初めて指揮をした曲でもあります。続く協奏曲では洗練とした曲想にマッチした上原彩子のフォルテピアノが躍動。メインを飾る第1交響曲は《獅子の爪》とも表される、瑞々しくも力強い一作。こちらも鈴木が中学生で初めて自分で企画した演奏会の曲。若き日の肖像が浮かび上がる、楽聖ベートーヴェンの意欲に満ちた出発点。鈴木少年の思い出もご一緒に。

■会場／住友生命いずみホール ■開演／15:00 ■料金(税込)／全席指定 S¥5,500 A¥4,500 学生席(25歳以下)¥2,000 3公演セット券¥14,500
■チケット取扱い／下記①②③④⑤ ■Pコード／292-202 ※未就学児入場不可
◎協賛／住友生命いずみホール[一般財団法人住友生命福祉文化財団]、阪急電鉄株式会社 ◎特別協賛／ダイキン工業株式会社

取扱い ①関西フィルハーモニー管弦楽団 ☎06-6115-9911 ②関西フィルWebチケット https://yyk1.ka-ruku.com/kansaiphil-s ③住友生命いずみホールチケットセンター ☎06-6944-1188 ④チケットぴあ https://t.pia.jp ⑤イープラス https://eplus.jp

リオ・クオクマン

新進気鋭の指揮者リオ・クオクマン、今年度より関西フィルのアーティスティック・パートナーに就任

■SPECIAL INTERVIEW

── 関西フィルとは、2017年に音楽監督デュメイの代わりに1度代役をされただけなのに、それがファンだけでなく楽員、事務局にも強烈なインパクトを与え、今回、満を持してのアーティスティック・パートナー就任と伺いました。リオ・クオクマンさんにとって関西フィルの印象はどうだったのでしょうか?

あのコンサートは、私の人生で最も忘れがたい思い出の一つです。代役が決まるとすぐ、パリから日本への飛行機に乗り、機内で楽譜を読み込んで、空港からそのままリハーサル会場に向かいました。体力的に持つか心配でしたが、音を出した瞬間にオーケストラからエネルギーを感じ、関西フィルの皆さんと音楽を通じて深くつながり合うことができたと思います。

── 今回のオファーについてはどのように受け止めておられますか?

大変光栄に思っています。これから様々なコンサートに取り組めることをとても楽しみにしています。

── 今後、関西フィルとどんな音楽を追求していくのでしょうか。

演奏したい曲がたくさんあり、今、具体的に絞り込むことはできませんが、関西フィルの仲間と1曲ずつ丁寧に探求していきたいと思っています。

── 就任披露公演のプログラムについて、どの様な経緯で決まったのか教えてください。また、それぞれの聴きどころもお願いします。

今年はショスタコーヴィチ没後50年の節目に当たるので、華やかな「祝典序曲」でコンサートを始めたいと思います。実は、私はピアニストであるのですが、私が最も敬愛する作曲家の一人がラフマニノフです。彼のピアノ作品はどれも私にとって大切なものです。今回、国際コンクールでも優秀な成績を残されている期待の若手ピアニスト五十嵐薫さんと「パガニーニの主題による狂詩曲」で初共演するのをとても楽しみにしています。「シェヘラザード」は、各楽器のソロが際立ち、オーケストラの魅力を存分に発揮できる作品で、関西フィルの仲間と演奏するのが待ち遠しいです。

── お好きな指揮者や目標にされている指揮者などがあれば教えてください。リオ・クオクマンさんにとって、優秀な指揮者の要件とは何だとお考えでしょうか。

憧れの指揮者は数えきれないほどいますが、それぞれ違った点に魅力を感じています。優れた指揮者に共通しているのは、オーケストラの音を形づくるため、人間性と音楽性の両方が備わっていることだと思います。

── ファンに向けてのメッセージをお願い致します。

いつも関西フィルを応援してくださる皆様に、この新しいパートナーシップで演奏をお届けし出来ることを楽しみしています。これから関西フィルの仲間とともに、様々な作品の世界を掘り下げていきたいと思いますので、ぜひコンサートホールにお越しください!

◎Interview&Text／磯島浩彰

6/22 SUNDAY [チケット発売中]
「関西フィルハーモニー管弦楽団 第356回定期演奏会」
■会場／ザ・シンフォニーホール ■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定 S¥6,500 A¥5,000 B¥3,500 C¥2,500 学生席(25歳以下)¥1,000
■Pコード／291-849 ※未就学児入場不可
◎協賛／阪急電鉄株式会社 ◎特別協賛／ダイキン工業株式会社

大阪交響楽団

TEL.072-226-5522 https://sym.jp

6/17 TUESDAY 第280回 定期演奏会[モーツァルティアーナ]

■チケット発売中

◎指揮／高橋直史(首席客演指揮者) ◎フルート／ワルター・アウアー ◎曲目／モーツァルト:交響曲 第37番ト長調 K.444(425a)、フルート協奏曲 第1番ト長調 K.313(285c)、歌劇「フィガロの結婚」序曲、レーガー:モーツァルトの主題による変奏曲とフーガ 作品132

ヨーゼフ・ハイドンの弟ミヒャエル・ハイドン。モーツァルトは友人として生涯尊敬の念を持ちあった間柄でした。ミヒャエルが作曲した「交響曲 第25番」にモーツァルトが序奏をつけた「交響曲 第37番」。モーツァルトが病気のミヒャエルのために自分の名前を出さずに作曲し、友人の窮地を救ったという逸話も残っています。続いて、ウィーンフィル首席奏者ワルター・アウアーを迎えて「フルート協奏曲第1番」を。後半は歌劇「フィガロの結婚」序曲でスタート。そしてレーガーの大作「モーツァルトの主題による変奏曲とフーガ」をお聴きいただきます。モーツァルト尽くしの一夜。お楽しみに。

■会場／ザ・シンフォニーホール ■開演／19:00(プレトーク18:45)
■料金(税込) 全席指定 S¥6,500 A¥5,500 B¥4,000 C¥2,500
D¥1,000(楽団WEB前売限定 オルガン席¥2,000
「青少年学生券」1回券¥1,000 5回券¥4,000
※青少年学生券は下記③のみ取扱い
■Pコード／284-985 ※未就学児入場不可

取扱い ①大阪交響楽団チケットセンター ☎072-226-5522(平日10:00～17:00) https://sym.jp ②イープラス https://eplus.jp/sym ③ザ・シンフォニー チケットセンター ☎06-6453-2333 https://www.symphonyhall.jp ④チケットぴあ https://t.pia.jp

髙橋直史

モーツァルトを愛してやまない髙橋直史がお届けする「モーツァルティアーナ」と題する、取って置きの定期演奏会

■SPECIAL INTERVIEW

©飯島隆

── 首席客演指揮者として、当初予定の3年間が過ぎました。途中、更に3年の契約延長が発表されましたが、3年を終えてどんな感想を持たれていますか。

10年以上前から大阪交響楽団を指揮させていただいています。首席客演指揮者就任後その回数は増え、一層強固な関係が構築できたように思います。メンバーとの相互理解が深まったタイミングで新たな契約延長を決めていただきました。このオーケストラでは歌心に溢れながらも、タイプの違う指揮者3人がそれぞれの得意分野で音楽作りに励んでいます。私は「音楽と美術」、「音楽と舞踊」といったようにテーマ性を持ったプログラムで、色々な作曲家の作品を取り上げ、皆さまに楽しんでいただきたいと考えています。

── ソロコンサートマスターの林七奈さんとは、東京藝大の同級生だと伺いました。

同じ学年で「直史くん」、「七奈ちゃん」と呼び合う仲です(笑)。学生時代から林さんは学内オーケストラのコンミを務めるほど優秀な存在でした。僕が何を考えているのか、手の内を見透かされているんだろうなとも思います。林さんのこともだいたい分かるつもりです。言いたいことを言い合いながらも、本番では真剣勝負で向き合える関係です。

── 今回の定期演奏会は「モーツァルティアーナ」と題したプログラム。聴き所を教えて下さい。

モーツァルトの交響曲 第37番を演奏します。と言うと、「エー、何て言った?!」と疑問を持つ人は音楽通です(笑)。交響曲 第37番は、モーツァルトがミヒャエル・ハイドン(交響曲の父ヨーゼフ・ハイドンの弟)の交響曲 第25番に序奏を付けたもので、後になってその事が判明し、正式にモーツァルトの交響曲 第37番は欠番となっています。ミヒャエル・ハイドンとモーツァルトは仲が良く、曲の貸し借りも有ったようです。ハイドンの交響曲 第25番にモーツァルトが序奏を付けると、さて、どんな曲になるか。この機会にお聴きください。

「1万人の第九」が主に紹介されていますが、開会式では大阪4オケとOsaka Shionの5団体で特別オーケストラを編成し、「君が代」やフェスティバルファンファーレ「そらどんがいっぱいPart3「祭りと空と」Short Ver」、国際博覧会協会旗掲揚時には「新世界より」第4楽章冒頭を演奏するなど、万博にも関わっております。。コチラも指揮は佐渡さんです。ただ、大阪4オケの演奏をフルに聴ける機会は、万博会場の中ではありません。そこでオススメなのが、毎年恒例の「大阪4オケ2025」(5月10日14時 フェスティバルホール)です。4つのオケの揃い踏みは、今年で11回目となります。今回は「万博」をテーマに、世界の名曲が演奏されます。そして、日本の曲を必ず1曲演奏することになっています。尾高忠明指揮の大阪フィルは、プリテンの歌劇「ピーターグライムズ」より「4つの海の間奏曲」、首席客演指揮者鈴木優人率いる関西フィルは、バーンスタイン「ウエスト・サイド・ストーリー」より「シンフォニック・ダンス」、常任指揮者 山下一史が指揮する大阪響はR.シュトラウスの交響詩「ティルオイレンシュピーゲルの愉快ないたずら」、音楽監督の久石譲が指揮するセンチュリー響はストラヴィンスキーのバレエ組曲「火の鳥」と、全て違った国の曲がプログラムに並びました。日本の曲は、ご確認ください。チケット購入希望の方はお急ぎください。その前に、ゴールデンウィーク最初の土、日(4月26日、27日)には、びわ湖ホールで「びわ湖の春 音楽祭」が開催されます。何と言ってもこの時期の琵琶湖は最高です!びわ湖ホールで音楽三昧の2日間を過ごしませんか?! 月日の流れは衰えを知らず。この調子で行くと、1年の半分はあっと言う間に終わりそうです(汗)

日本センチュリー交響楽団

TEL.06-6848-3311 https://www.jcso.or.jp

7/25 FRIDAY 第291回定期演奏会

■チケット発売中

©Marco Borggreve

◎指揮／デルヤナ・ラザロワ ◎曲目／ラヴェル:組曲「クープランの墓」(管弦楽版)、ショウ:アントラクト、ベートーヴェン:交響曲 第4番 変ロ長調 作品60

ブルガリア出身の気鋭マエストロ=デルヤナ・ラザロワが初来日!ヴァイオリニストでもあるラザロワは、第1回シーメンス ハレ国際指揮者コンクールで優勝後、BBC交響楽団やバーミンガム市交響楽団、フランス国立管弦楽団などヨーロッパ各地で活躍する指揮者です。今回、グラミー賞受賞アーティストで現代作曲家のキャロライン・ショウの楽曲や、ラヴェル、そしてベートーヴェンまで多彩なプログラムを描きます。センチュリーからどのような音を引き出すのか、どうぞお楽しみに!

■会場／ザ・シンフォニーホール
■開演／19:00
■料金(税込)／全席指定 S¥10,000(特典付) A¥7,000 B¥5,500 C¥4,000 D¥3,000
■Pコード／289-078
■Lコード／58091
※未就学児入場不可

取扱い ①センチュリーチケットサービス ☎06-6848-3311(平日10:00～18:00) https://www.jcso.or.jp/ticket/ ②ザ・シンフォニー チケットセンター ☎06-6453-2333 http://www.symphonyhall.jp ③チケットぴあ https://t.pia.jp ④ローソンチケット https://l-tike.com ⑤イープラス https://eplus.jp

篠原悠那

煌びやかなオーラを放つ二人の女性コンサートマスターのひとり篠原悠那に話を聞いた。

■SPECIAL INTERVIEW

── 日本センチュリーとの関係はどうして生まれたのですか。

オーケストラのお仕事で隣の席がコンサートマスターの松浦奈々さんでした。演奏終了後「良かったら一度うちのオケに来てみない?」と誘って頂いたので、乗せて頂いたのです。元々オーケストラは好きで、東京の楽団からもお誘いがあれば弾かせて頂いていました。大作曲家の作品でも交響曲や協奏曲のジャンルは、オーケストラでないと弾く機会はありません。皆さんと一緒に一つの作品を作り上げていくのも楽しいです。

── 客員コンサートマスターの役割を教えてください。

客演コンサートマスターは、ゲストとしてその公演だけをお手伝いする感じですが、客員コンマスはもう少し踏み込んで、センチュリーのサウンドや特徴はもちろん、より楽団の身内のように近い立場で、メンバーの皆さまと一緒に音楽を作る関係と言えばいいでしょうか。今はコンマスの位置、もしくはその隣で弾かせていただいています。これまでに凄いコンマスをたくさん見て来ていますが、皆さんオーラが違います。いきなりそのような存在にはなれませんが、メンバーが迷った時に何かしてくれる。そんな頼れる存在ではいたいですね。

── 日本センチュリー交響楽団の印象は。

小編成のオーケストラという事で、室内楽的にアンサンブルするのが得意なオーケストラだと思いました。演奏中も皆さんしっかりアンテナを張っていて、奏者に視線を配ると、すぐに目が合います。この一体感が頼もしいです。カルテット・アマービレでは1stヴァイオリンを弾いているのですが、松浦さんは「弦楽四重奏の延長がオーケストラ。同じだから心配することはないよ」と心強いことを言ってくださいます。しかし、木管、金管、打楽器はやはり弦楽器とは別の楽器なので、楽器特性などを知る必要は感じています。しっかりメンバーとコミュニケーションを取って、信頼関係を築いて行きたいです。

── 今年度から久石さんが音楽監督です。

今年の「2月定期演奏会」で久石さんの指揮を経験しました。他で

は「久石譲フューチャー・オーケストラ・クラシックス」にも乗せて頂いています。作曲家の視点から楽譜の読み方などに新しい発見があります。久石さんはリハーサル中に、思いを言葉で伝えられる方。メンバーもそれに応えて、久石さんの音楽を表現していこうという協力的な姿勢ですので、素敵な関係です。直近で久石さんの指揮だと「6月定期演奏会」と、新しく出来た「北摂定期演奏会」で松浦さんの隣で弾きます。

── 篠原さんと言えば輝かしい受賞歴とは別に、人気アニメ「四月は君の嘘」のヒロイン宮園かをり役のモデルアーティストとして一部のファンには知られています。

もう10年前のことになります。演奏を弾くだけでなく、私の演奏姿を取り込んでアニメが作られているため、宮園をりちゃんと弾き方が同じでびっくり。ヨーロッパでも留学先の友達に観たよと言われました(笑)。素晴らしい作品に関われたことは素敵な思い出です。

── 最後にメッセージをお願いします。

改めまして篠原悠那です。よろしくお願いします。センチュリーの温かいサウンドは、メンバーの人間性から来ているのだと思います。感動だけでなく、安らぎも併せて感じて頂けるような演奏をお届けしたいです。ぜひコンサートホールにお越しください。

◎Interview&Text／磯島浩彰

弾む音符の向こう側♪

writing by Hiroaki Isojima

#27 大阪・関西万博が始まり、大阪4オケも新年度がスタート。

「1月行く、2月逃げる、3月去る」とはよく言ったもので、月日は流れるように1年の1/4が終わり、間もなく1/3も終わろうとしています。桜の開花と共に迎えた新年度も、気付けば4月後半。大阪4オケも新しいシーズンを迎え、大阪フィルは既に最初の定期演奏会を尾高忠明監督と共に、エルガーのオラトリオ「ゲロンティアスの夢」という大曲で済ませております。初めて聴く曲でしたが、「生の葛藤、神への信頼、魂の救済」をテーマに、大阪フィルらしい16型のオーケストラに、3名のソリスト、合唱団まで加わった大編成の曲で、迫力のサウンドが本拠地フェスティバルホールに鳴り響きました。知的好奇心も十分に満たされた大満足の演奏会でした。

大阪フィル以外の3つのオーケストラの定期演奏会は、4月末までの10日間に次々と、ザ・シンフォニーホールで行われます。23日は秋山和慶マエストロに代わり、下野竜也指揮のセンチュリー響、25日は山下一史指揮の大阪響、29日は藤岡幸夫指揮の関西フィル。まるで百花繚乱の模様のようで、どれに行こうか迷ってしまいます。3つのオーケストラにとっては、今シーズンを占う大切な最初の定期演奏会。いつも以上に力の入った演奏が聴けるはずです。プログラムや料金などは楽団のホームページをご確認の上、ザ・シンフォニーホールに足をお運びください。

そんな中、大阪・関西万博が始まりました。報道では佐渡裕さんが指揮する

磯島 浩彰〈音楽ライター〉／エンターテインメントの仕事に携わること35年。エンタメは人を元気にするチカラがある。こんな時だからこそ、エンタメの魅力をみんなに届けたい! と、面白いネタを探しに、今日もホールや劇場を飛び回っている。

京都芸術劇場 春秋座

TEL.075-791-8240 《チケット購入・お問合せ　https://k-pac.org/ 《チケット購入OK

6/14 SATURDAY 芸術監督 藤間勘十郎の芸能講座第二回「芸術監督 vs 芸術監督2」四谷怪談を語る！

チケット発売中

◎出演／藤間勘十郎（京都芸術劇場 春秋座 芸術監督）、木ノ下裕一（まつもと市民芸術館 芸術監督団 団長）

毎回、藤間勘十郎が話を伺いたい様々なジャンルのゲストをお迎えし、実演も交えながら芸能の奥深さ、豊かさの源泉、そして楽しさを探る講座。第二回は木ノ下歌舞伎主宰の木ノ下裕一氏をお迎えして、鶴屋南北の名作「四谷怪談」を題材に演出、脚本、実際の上演の工夫など、2人の芸術監督の手がけた作品の映像や実演を交えて、その魅力に迫ります。

■会場／京都芸術劇場 春秋座
■開演／14:00
■料金（税込）／全席自由 一般¥1,500
学生&ユース（25歳以下）¥500
■チケット取扱い／下記①
※未就学児入場不可

6/21 SATURDAY 6/22 SUNDAY 京都芸術劇場 春秋座 藤間勘十郎芸術監督プログラム 春秋座花形舞踊公演

チケット発売中

◎出演／藤間勘十郎（京都芸術劇場 春秋座 芸術監督）、市川團子、芳澤壱ろは、若柳吉蔵 ほか ◎演目／新作舞踊劇「小栗判官車街道」長明連中 市川團子宙乗り相勤め申し候／「華舞競歌舞伎彩」長明連中 舞踊「新鷺娘」、舞踊「鬼揃紅葉狩」

前半の新作舞踊劇「小栗判官車街道（おぐりはんがんくるまかいどう）」は、團子による天馬での宙乗りをはじめ、春秋座ならではの演出が見どころ。後半の「華舞競歌舞伎彩（はなさそうかぶきのいろどり）」では、芳澤壱ろはが積もる恋心を白鷺の姿に重ねて華麗に舞う新振付作品「新鷺娘」、勘十郎の鬼女と市川團子の平維盛による舞踊劇「鬼揃紅葉狩」の二題を。『鬼揃一』は三代目猿之助四十八撰「華果十曲」の一つで春秋座にもゆかりがあり、前半の美しい紅葉狩りの場面と豪快で荒々しい群舞で魅せる後半の対比が見事な、舞踊の魅力たっぷりの一幕もの。春秋座芸術監督藤間勘十郎が挑む「実験と冒険」の舞台は必見！

■会場／京都芸術劇場 春秋座　■開演／6月21日（土）11:00, 16:00　6月22日（日）11:00
■料金（税込）／全席指定 特典付SSVT8,500（完売）SSVT7,900（完売）
SVT5,900（完売）AV10,000 学生&ユース（25歳以下）¥6,000
■チケット取扱い／下記①④⑤⑥　■Pコード：533-151　■Lコード：56966
※未就学児入場不可 ※学生&ユースは要証明書、座席範囲指定あり ※学生&ユースは①のみ取扱い

神戸国際会館こくさいホール

TEL.078-230-3300 《チケット購入・お問合せ　https://www.kih.co.jp/kokusaihall 《チケット購入OK

5/10 SATURDAY フォレスタコンサート in 神戸

チケット発売中

全員が音楽大学、大学院にて研鑽を積んだ優れた音楽家たち。時代とともに生まれた名歌名曲をフォレスタ独自のアンサンブルでお届けします。豊かな音楽の世界をお楽しみください。

◎出演／澤田薫、横山慎吾、竹内直紀、山本将生、内海万里子、吉田和夏、池田史花、三宅里菜、小笠原優子、財木麗子、吉田明未
◎ピアノ／石川和男、大杉光恵
◎司会／石川牧子

■会場／神戸国際会館こくさいホール　■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定 ¥6,600　■チケット取扱い／下記②④⑤⑥⑧
■Pコード／287-725　■Lコード／52483
※未就学児入場不可
※出演者は変更になる可能性があります
出演者の変更によるチケット代金の払い戻しは承りません

6/28 SATURDAY 加藤登紀子 60th Anniversary Concert 2025 for peace 80億の祈り

チケット発売中

◎曲目／知床旅情、愛のくらし、難破船、時には昔の話を、ひとり寝の子守唄、イマジン、Revolution、百万本のバラ など ※曲目は変更になる場合がございます

1965年、歌手デビューして以来60年、第一線で活躍してきた加藤登紀子。シャンソンからスタートし、ジャンル、国境を越え世界の音楽に挑戦し続けてきたシンガーソングライター。多くの人々の心に残る名曲を、歌いつないできた登紀子の60年を歌で巡る、平和への願いを込めたコンサートツアーです。時代が激しく動いている今、それぞれの場に生きる人々と共に、平和を願い、未来への希望を育むコンサートになればと願います。

■会場／神戸国際会館こくさいホール
■開演／15:00　■料金（税込）／全席指定 ¥7,000
■チケット取扱い／下記②④⑤⑥⑧
■Pコード／287-724　■Lコード／52642
※未就学児入場不可

7/12 SATURDAY 結成50周年 Godiego Live! 2025

チケット発売中

2025年に結成50周年を迎えるゴダイゴの神戸公演が決定！ 世代を超えて愛される名曲を存分にご堪能ください。

縁が深い神戸でのコンサート。今回は50周年を迎えて、いまだに仲の良いメンバーの笑顔で皆さまをお迎えいたします。See you soon!!〈ミッキー吉野〉

■会場／神戸国際会館こくさいホール
■開演／15:30
■料金（税込）／全席指定 ¥8,000
■チケット取扱い／下記②④⑤⑥⑧
■Pコード／292-087
■Lコード／53655
※未就学児入場不可

7/26 SATURDAY 渡辺美里 40周年 BITTER☆SWEET ULTRA POP TOUR 2025

チケット発売中

デビュー40周年記念。最高で最好な究極の選曲でお届けするROCKでPOPなスシャルライブ。

■会場／神戸国際会館こくさいホール　■開演／17:45
■料金（税込）／全席指定 ¥11,000（前売）
［ファミリー席］大人¥11,000（前売）※小人無料
■チケット取扱い／下記②④⑤⑥⑧
■Pコード／295-005　■Lコード／53644
※3歳以下入場不可 ※未就学児童は保護者1名につき1名まで膝上観覧可
※全席指定、ファミリー席（大人）共に、座席利用の場合は
「ファミリー席（小人）」または「全席指定」をご購入ください
（ファミリー席（大人/小人）について）
※ファミリー席は⑧のみ取扱い ※大人のみでのご入場はご遠慮ください
※「ファミリー席（小人）」は公演当日に小学生以下の方が対象です
当日に年齢確認ができるものをお持ちください
※中学生以上の方は保護者同伴でも「全席指定」または
「ファミリー席（大人）」をご購入ください
※ファミリー席は大人＋小人チケット合計4枚まで。但し大人チケットは最大2枚まで

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

TEL.077-523-7136 《チケット購入・お問合せ　https://www.biwako-hall.or.jp/ 《チケット購入OK

6/7 SATURDAY 名曲コンサート 小林愛実 ピアノ・リサイタル

チケット発売中

◎曲目／シューマン：クライスレリアーナop.16、ショパン：ピアノ・ソナタ 第3番 口短調op.58 ほか

©Shuhei Tsunekawa

2021年、ショパン国際ピアノコンクールで第4位入賞を果たした小林愛実。ソロでは初登場となるびわ湖ホールで今回演奏するのは、小林が長年向き合ってきたショパンの傑作「ピアノ・ソナタ 第3番」やシューマンの大作「クライスレリアーナ」など名曲の数々。これまで以上に円熟し、表現に磨きのかかる演奏は必聴です。

■会場／滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 大ホール　■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定 SV3,300 AV2,200
青少年（24歳以下）¥1,100 シアターメイツ¥550
■チケット取扱い／下記③④⑤⑥⑦
■Pコード／288-341　■Lコード／56620
※6歳以上入場可 ※シアターメイツチケットは③のみ取扱い

7/5 SATURDAY 大人の楽しみ方39〈ジャズ〉 山中千尋トリオ

チケット発売中

◎ピアノ／山中千尋 ◎ベース／畠山 令 ◎ドラムス／橋本現輝

ニューヨークを拠点に世界的に活躍を続ける山中千尋がスペシャル・トリオで登場。ダイナミズムと超絶技巧、ジャズの伝統と斬新なアレンジを併せ持つ、今まさに活動の絶頂期を迎えているジャズ・ピアニスト山中千尋が率いるピアノトリオをお楽しみください。

■会場／滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 中ホール
■開演／17:00
■料金（税込）／全席指定 一般¥5,500
青少年（24歳以下）¥2,200 シアターメイツ¥1,100
■チケット取扱い／下記③④⑤⑥
■Pコード／288-346　■Lコード／56684
※6歳以上入場可 ※シアターメイツチケットは③のみ取扱い

7/18 FRIDAY ～21 MONDAY HOLIDAY オペラへの招待 レハール作曲 オペレッタ『メリー・ウィドウ』

全3幕（日本語上演、日本語・英語字幕付）

チケット発売中

◎指揮／阪 哲朗（びわ湖ホール芸術監督）◎演出／唐谷裕子
◎管弦楽／日本センチュリー交響楽団

優美で心弾き立つ音楽と踊り、豪華さと楽しさを持つ、ウィーン・オペレッタの超人気作。阪哲朗 指揮のもと、びわ湖ホール声楽アンサンブルが奏でるラブコメディーをお見逃しなく！

■出演／並河寿美（7月18日・20日）、船越亜弥（7月19日・21日）、市川敏雅（7月18日・20日）、迎 肇聡（7月18日・20日）、島影聖人（全日）、びわ湖ホール声楽アンサンブル ほか

©TAKASHI OTO　©Shiki

■会場／滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 中ホール
■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定 一般¥6,050
青少年（24歳以下）¥2,200 シアターメイツ¥1,100
■チケット取扱い／下記③④⑤⑥
■Pコード／288-343　■Lコード／56654
※6歳以上入場可 ※シアターメイツチケットは③のみ取扱い

8/24 SUNDAY 上野耕平（サクソフォン） 三浦一馬（バンドネオン）・山中惇史（ピアノ） トリオ・コンサート

チケット発売中

◎曲目／J.S.バッハ：G線上のアリア、ピアソラ：フーガと神秘、ブエノスアイレスの冬、レオノーラの愛のテーマ、デカリシモ、タウェル：ポレロ ほか

©YujiUeno　©Toshinori Iida　©Takafumi Ueno

進化し続ける若手トップアーティスト3人が、確かなテクニックと卓越した音楽性で創り出す情熱のステージ！ 前半は、サクソフォン、バンドネオン、ピアノそれぞれの魅力に満ちたソロを中心に、後半は3人によるエネルギッシュでスリリングなアンサンブルをお届けします。公演当日にはサクソフォンクリニックも開催します（要申込・詳細はホームページ参照）。

■会場／滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 中ホール
■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定 一般¥4,950 青少年（24歳以下）¥2,200
シアターメイツ¥1,100
■チケット取扱い／③⑥⑧　■Pコード／293-554　■Lコード／56787
※6歳以上入場可 ※シアターメイツチケットは③のみ取扱い

チケット取扱い
①京都芸術劇場チケットセンター ☎075-791-8240（平日10:00～17:00）https://k-pac.org/ticket/　②神戸国際会館プレイガイド ☎078-230-3300（10:00～18:00 火曜休業 ※12:00～13:00昼休業）https://www.kih.co.jp/kokusaihall/ticket/online
③びわ湖ホールチケットセンター ☎077-523-7136（10:00～19:00 火曜休館）https://www.biwako-hall.or.jp/　④チケットぴあ https://t.pia.jp　⑤ローソンチケット https://l-tike.com　⑥イープラス https://eplus.jp
⑦楽天チケット https://r-t.jp/　⑧CNプレイガイド ☎0570-08-9999 https://www.cnplayguide.com

2025年6月～8月 京都南座 公演のご案内

6月 12(木)～22(日) 開演時間／14:00【休演】17(火)　**5月9日(金) 午前10時 電話・Web受付開始**【窓口販売・お引取りは5月11日(日)午前10時より】窓口販売用別枠でのお取置きはございません。

松竹創業百三十周年

坂東玉三郎特別公演

竹久夢二生誕百四十年記念

【口上】
坂東玉三郎よりご来場の皆様へご挨拶を申し上げます。

【地唄（じうた）・残月】
峰崎勾当（みねさきこうとう）の門下の松屋某の息女が夫折したのを偲んで作られた曲で、曲題はその戒名にちなんだものと伝えられています。見え隠れする月の情景と、早世した女性の命の儚さを静かに表現する玉三郎の珠玉の地唄舞をご堪能ください。

〈映像〉
【夢二慕情】
昭和五十九（一九八四）年に新橋演舞場・中日劇場で上演された『夢二慕情』を、映像作品として新たに撮り下ろしました。夢二が愛した女性たちを玉三郎が演じ、夢二の半生を描きます。

【長崎十二景】
明治末期から大正、昭和にかけて人気を博した画家・竹久夢二（たけひさゆめじ）の代表作に数えられる名画をもとに、唯是震一（ただしいちいち）が発表した組曲「長崎十二景」の音楽と舞踊が渾然一体となった舞踊劇です。
昭和五十四（一九七九）年に初演された『長崎十二景』は、夢二の絵から抜け出したような女人像が評判となり、翌年十二月にサンシャイン劇場にて再演、以後上演が重ねられました。哀愁の中にも繊細な情趣や美しさに富んだ作品をお楽しみください。

竹久夢二「眼鏡想」福田美術館

協力 公益財団法人 福田美術振興財団／福田美術館
公益財団法人 両優文化振興財団／夢二郎士美術館

小波津亜廉

松竹創業百三十周年

坂東玉三郎特別公演

竹久夢二生誕百四十年記念

一、口上
二、地唄 残月
三、〈映像〉夢二慕情
四、長崎十二景

ご観劇料（税込）

特別席	一等席	二等席	三等席
16,000円	15,000円	8,000円	5,500円

製作 松竹

5月 2(金)～6(火)休　7・8月 7/26(土)～8/11(月)(祝) ※7/29(木)・8/5(火)休館

春開催　大好評発売中　夏開催

南座舞台体験ツアー

あなたも俳優気分！

～ 歌舞伎の舞台機構［花道］［迫り］［廻り舞台］を南座で体験 ～

大好評につき、5月・7月・8月も開催決定！

「花道」「迫り」「廻り舞台」など江戸時代に日本の芝居小屋で発明された歌舞伎劇場特有の舞台機構を実際に体験できるユニークな劇場体験プログラム。

舞台機構体験時間
※各回定員制。所要時間約30分（予定）
①11:00～ ②12:00～ ③14:00～
④15:00～ ⑤16:00～
・チケットご購入時は【舞台機構体験時間】の中からご希望の日時をお選びください。
・ご希望の日時が満員の場合は他の体験時間または他日をご利用ください。

入館時間
※舞台機構体験時間の各15分前より入館可能
・舞台機構体験時間の前後も自由に館内をご覧いただけます。

料金（税込） 2,000円

「花道」で記念撮影　迫力の「迫り」を体験　憧れのセンターポジションに立つチャンス！

8月 15(金)～26(火)　5月25日(日) 午前10時 電話・Web受付開始
【窓口販売・お引取りは5月27日(火)午前10時より】窓口販売用別枠でのお取置きはございません。

製作／松竹株式会社 主催・歌舞伎「刀剣乱舞」製作委員会
©NITROPLUS・EXNOA LLC／新作歌舞伎「刀剣乱舞」製作委員会

歌舞伎 刀剣乱舞

原案 「刀剣乱舞ONLINE」より（DMMGAMES／NITROPLUS）
脚本 松岡亮
演出 尾上菊之丞 尾上松也

製作 松竹

ご観劇料（税込）

一等席 15,500円	二等席 8,500円	三等席 5,500円
特別席 16,500円		

8月	15 金	16 土	17 日	18 月	19 火	20 水	21 木	22 金	23 土	24 日	25 月	26 火
11時半	◆	◆	◆	◆	◆	◆	休	◆	◆	◆	◆	◆
13時半	◆	◆	◆	◆	◆	◆	演	◆	◆	◆	◆	◆
16時	◆	◆	◆	◆	◆	◆	日	◆	◆	◆	◆	◆

京都四條 南座
〒605-0075 京都市東山区四条大橋東詰 電話 075-561-1155
松竹ホームページ https://www.shochiku.co.jp
歌舞伎美人（かぶきびと） https://www.kabuki-bito.jp

チケットホン松竹（10:00～17:00）0570-000-489 または 06-6530-0333

チケットWeb松竹（24時間受付・受付初日は10:00より）チケット Web 松竹

団体のお申し込みお問い合わせは 075-561-1155（販売営業）まで
前売券取扱所：南座・大阪松竹座・歌舞伎座・新橋演舞場

チケットぴあ 南座 w.pia.jp/t/minamiza/	Pコード	「坂東玉三郎特別公演」533-375 「春の舞台体験ツアー」656-284 「夏の舞台体験ツアー」656-285 「刀剣乱舞」533-922	
ローソンチケット チケット 南座 l-tike.com/minamiza/	Lコード	「坂東玉三郎特別公演」51846 「春の舞台体験ツアー」51551 「夏の舞台体験ツアー」56493 「刀剣乱舞」57585	
イープラス e+ 南座 eplus.jp/minamiza/			

※「刀剣乱舞」のみ下記にても受付
CNプレイガイド https://www.cnplayguide.com/ 0570-08-9999（オペレーター対応）

茨木市市民総合センター（クリエイトセンター）

TEL.072-625-3055 《お問合せ　https://www.ibabun.jp 《チケット購入OK

7/1 TUESDAY 第21回茨木ハチマル落語会「惣兵衛 宮治 扇橋 三人会」

5/1(木)～チケット発売

◎出演／桂惣兵衛、桂 宮治、入船亭扇橋 ※演目は当日のお楽しみ

本格的な生の落語を、身近に、気軽に、約「80分」でお楽しみいただく〈茨木ハチマル落語会〉

上方と江戸、それぞれの落語界で注目を集める三人の噺家が、今回「三人会」として顔をそろえます。異なる土地に育ち、違った流儀を持つ三人が出会うことで、これまでにない新たな世界が広がります。伝統を大切にしながらも、時代の空気を軽やかにとらえた話芸は、笑いとともに心に深く響くはず。新しい笑いと感動の旅へ、どうぞご期待ください。

■会場／茨木市市民総合センター（クリエイトセンター）センターホール　■開演／14:30
■料金（税込）／全席指定 ¥1,500　■チケット取扱い／下記①⑧　※未就学児入場不可

7/6 SUNDAY 茨木コテン劇場 ～古典落語とクラシカルシネマ～

チケット発売中

◎出演／桂 米紫 ◎演目／落語：「たちぎれ線香」 映画：「道」（1954年/104分/イタリア/提供:文輝堂）※桂 米紫による「落語家のミニミニ映画解説」あり

ライブで「古典落語」を、スクリーンで「クラシカルシネマ」を!

落語と名作映画を一度に楽しめる一挙両得イベント。
映画好きで知られる落語家・桂 米紫が、意外な共通点を持つ落語と映画をセレクトし、ミニミニ映画解説を交えてお届けします。
今回のテーマは「いつまでも、忘れられない君の歌」。
取り上げるのは、悲恋を描く落語の名作「たちぎれ線香」と、イタリアの巨匠フェリーニ監督による映画「道」。
どちらも「胸に残るメロディ」を軸に、男たちの喪失と虚無を描きます。
本当に大切なものは何だったのか――。
心にしみる“悲哀の歌”を、劇場でじっくりご堪能ください。

■会場／茨木市市民総合センター（クリエイトセンター）センターホール　■開演／13:00　■料金（税込）／全席指定 一般¥2,000　U-25(25歳以下)¥1,000
■チケット取扱い／下記①⑦⑧　■Lコード／51687　※未就学児入場不可

住友生命いずみホール

TEL.06-6944-1188 《チケット購入・お問合せ　https://www.izumihall.jp 《チケット購入OK

5/22 THURSDAY IZUMI JAZZ NIGHT 2025 小曽根 真

チケット発売中

◎ピアノ／小曽根 真 ◎曲目／当日発表

クラシック音楽専用ホールで「ちょっぴり大人なジャズ公演」をお楽しみいただくIZUMI JAZZ NIGHT。2005年のシリーズ開始より度々出演し、ホールの響きと空間を愛してやまない小曽根 真が今年も至高の時間を奏でます。円熟を迎え、さらなる挑戦を続ける小曽根が、お客様お一人お一人と向き合ったとき心に浮かんだ想いを音に乗せる“その日限り”のソロ・ステージ。ぜひライブでご体感ください!

©YOSUKE SUZUKI

■会場／住友生命いずみホール　■開演／19:00
■料金（税込）／全席指定 一般¥6,500　U-30¥2,000
■チケット取扱い／下記②⑥⑦⑧
■Pコード／288-880　■Lコード／54121
※未就学児入場不可
※U-30は小学生～30歳以下【限定数・②〈オンライン〉のみ取扱い】

6/26 THURSDAY ランチタイム・コンサート vol.27 そよ風に響く、優美さと重厚さ

チケット発売中

◎ハープ／福井麻衣 ◎コントラバス／幣 隆太朗 ◎曲目／シューベルト:アルペジオーネ・ソナタ、チャイコフスキー:花のワルツ、ピアソラ:アヴェ・マリア ほか

平日のお昼、出演者のお話も交えながら、気軽にクラシック音楽を楽しめる「ランチタイム・コンサート」。今回はハープとコントラバスという珍しい組み合わせのデュオが登場します。ホールを包み込む“優美さと、重厚さ”が織り成す唯一無二の響き…ともに関西から世界へ羽ばたく出演者自身もワクワクしていると語る注目の共演です。

©Akira Muto

◎「ホテルニューオータニ大阪 ランチセットプラン」もご用意♪

■会場／住友生命いずみホール　■開演／11:30
■料金（税込）／全席指定 一般¥3,000　ランチセットプラン¥7,000
■チケット取扱い／下記②⑥⑦⑧
■Pコード／288-884　■Lコード／54265
※未就学児入場不可

あいおいニッセイ同和損保 ザ・フェニックスホール

TEL.06-6363-7999 《チケット購入・お問合せ　https://phoenixhall.jp/

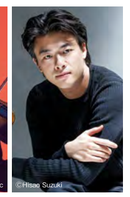
MANY DAYS あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール開館30周年記念「偉大なる3人のコンサートマスター」

◎6/28(土)フォルクハルト・シュトイデ　◎10/1(水)石田泰尚　◎11/15(土)郷古 廉

[3公演セット券]チケット発売中　[各公演チケット]5/16(金)～チケット発売

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール開館30周年を記念して3人のコンサートマスターによるリサイタルシリーズを企画しました。普段は大きなホールで多くの奏者を束ねる彼らが300席の小さなホールでヴァイオリンとピアノのみで奏でる旋律と響き、そしてオーケストラを牽引するダイナミクスを持ち合わせているからこそ表現できる、繊細でありながらも深遠な世界を存分にご堪能ください。また今回は3人に自由にプログラムを組んでいただき、それぞれの個性が色濃く反映された意欲的な内容となっています。

©Norizumi Kitada Universal Music


©Hisao Suzuki

◎6/28(土)15:00～［ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター フォルクハルト・シュトイデ］
◎出演／フォルクハルト・シュトイデ（ヴァイオリン）、三輪 郁（ピアノ）◎曲目／モーツァルト:ヴァイオリンソナタ ホ短調 K.304、フランク:ヴァイオリンソナタ イ長調、ラヴェル:ツィガーヌ ほか

◎10/1(水)19:00～［神奈川フィルハーモニー管弦楽団&京都市交響楽団コンサートマスター 石田泰尚］
◎出演／石田泰尚（ヴァイオリン）、岡本知也（ピアノ）
◎曲目／モーツァルト:ヴァイオリンソナタ 第25番 ト長調 K.301(293a)、フォーレ:ヴァイオリンソナタ 第1番 イ長調 op.13、ブラームス:ヴァイオリンソナタ 第3番 ニ短調 op.108 ほか

◎11/15(土)15:00～［NHK交響楽団コンサートマスター 郷古廉］
◎出演／郷古 廉（ヴァイオリン）、沼沢淑音（ピアノ）
◎曲目／ショスタコーヴィチ:ヴィオローフ/アウエルバッハ編:24の前奏曲 op.34（ヴァイオリンとピアノ版）、ショスタコーヴィチ:ヴァイオリンソナタ op.134

■会場／あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール
■料金（税込）／全席指定 一般各¥5,000（友の会会員各¥4,500）学生各¥1,500 〔3公演セット券〕一般¥14,000（友の会会員¥12,000）
■チケット取扱い／下記③⑥⑧　■Pコード／[フォルクハルト・シュトイデ]292-819 〔石田泰尚〕292-821 〔郷古 廉〕292-822
※未就学児入場不可 ※託児あり（要事前申込）※セット券、学生券は③のみ取扱い

大和高田さざんかホール

TEL.0745-53-8200 《チケット購入・お問合せ　www.city.yamatotakada.nara.jp/sazankahall

5/31 SATURDAY Nara for Culture ～ムジークフェストなら2025～ 藤木大地&みなとみらいクインテット

チケット発売中

◎出演／藤木大地（カウンターテナー）、成田達輝（ヴァイオリン）、山根一仁（ヴァイオリン）、川本嘉子（ヴィオラ）、遠藤真理（チェロ）、髙木竜馬（ピアノ）

©Marco Borggreve　©T.Tairadate　©島崎陽子　©Yusuke Matsuyama　©Yuji Ueno

関西では2023年5月にさざんかホールで開催された藤木大地&みなとみらいクインテットが、2025年5月再結成して登場!!
カウンターテナーのこの世のものとも思えない甘美な響きと日本屈指のメンバーが揃ったピアノ五重奏団の共演をお楽しみください。

■曲目／ブラームス:ピアノ五重奏曲 ヘ短調 op.34、J.シュトラウスII世:お客を招くのが好き(喜歌劇「こうもり」より)＊◆、ヘンデル:怪物や魔物と戦わせてくれ(歌劇「オルランド」より)＊◆、ラフマニノフ:ヴォカリーズ＊◆、マスカーニ:アヴェ・マリア＊◆、マーラー:私はこの世に忘れられた(「リュッケルトによる5つの歌曲」より)＊◆、アーレン:オーバー・ザ・レインボー＊◆、モリコーネ:ネッラ・ファンタジア＊◆、村松崇継:生命の奇跡＊◆、加藤昌則:もしも歌がなかったら＊、木下牧子:夢みたものは◆
※カウンターテナー:藤木大地　◆編曲:加藤昌則

■会場／大和高田さざんかホール 大ホール　■開演／14:00
■料金（税込）／全席指定 ¥2,500　■チケット取扱い／下記④⑥⑧
※未就学児入場不可 ※託児保育あり(無料・予約制)【申込締切:5月23日(金)】

すばるホール

TEL.0721-25-0222 《お問合せ　http://subaruhall.org/ 《チケット購入OK

6/15 SUNDAY 宇崎竜童 弾き語り LIVE2025 JUST GUITAR JUST VOCAL

チケット発売中

◎予定曲／港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカ、ロックンロール・ウィドウ、想い出ぼろぼろ、イミテイション・ゴールド ほか
※演奏曲目は変更になる場合がございます

東京都出身。1973年にダウン・タウン・ブギウギ・バンドを結成しデビュー。「港のヨーコ・ヨコハマ・ヨコスカ」「スモーキン’ブギ」など数々のヒット曲を生み出す。作曲家としても多数のアーティストへ楽曲を提供。阿木燿子との コンビで、山口百恵へ「横須賀ストーリー」「プレイバック part2」「さよならの向う側」など多くの楽曲を提供、山口百恵の黄金時代を築いた。阿木と共に力を注いでいるライフワーク作品「Ay曽根崎心中」では音楽監督を務めている。自身のライブの他、映画・舞台音楽の制作、俳優等で幅広く活動中。2019年阿木燿子と共に岩谷時子賞特別賞受賞。

■会場／すばるホール 2階ホール
■開演／15:00
■料金（税込）／全席指定 一般¥6,500　高校生以下¥1,500
※当日各500円増
■チケット取扱い／下記⑤⑥⑦
■Pコード／293-114　■Lコード／52055
※未就学児入場不可

チケット取扱い　①茨木市文化振興財団 ☎072-625-3055 https://www.ibabun.jp/　②住友生命いずみホール チケットセンター ☎06-6944-1188（10:30～17:00 日・祝日休業）https://www.izumihall.jp/ticket/　③ザ・フェニックスホール チケットセンター ☎06-6363-7999（10:00～17:00 土・日・祝日休業）　④大和高田さざんかホール ☎0745-53-8200　⑤すばるホール（チケット専用）☎0721-25-2060 http://subaruhall.org/　※当日券あり　⑥チケットぴあ https://t.pia.jp　⑦ローソンチケット https://l-tike.com　⑧イープラス https://eplus.jp

SPECIAL INTERVIEW 01

小菅 優 Yu Kosuge

大好きなミヒャエラ・ゼリンガーの歌声を聴いて欲しくて!

住友生命いずみホールで、昨年から始まった「小菅 優 いずみ室内楽シリーズ」。一人でピアノを弾くのではなく、仲間とアンサンブルに興じる小菅は何だか楽しそうだ。彼女に話を聞いてみた。

©Takehiro Goto

―― シリーズ1回目は、ピアノ、ヴァイオリン、チェロ、クラリネットという編成で、メシアンの「時の終わりのための四重奏曲」をメインにしたチャレンジングなプログラムでした。

尊敬する武満徹さんの言葉「私にとっての音楽は、祈り・愛・希望だった」というのに感動して、それをテーマにコンサートをしようと思ったのです。1回目は「祈り」をテーマにプログラムを作りました。平和が当たり前ではないこの時代だからこそ、「時の終わりのための四重奏」を演奏したかった。今年は「愛」をテーマに、大好きなミヒャエラ・ゼリンガー（メゾ・ソプラノ）と一緒に、イタリア語、フランス語、ドイツ語による歌曲をお届けします。

―― 歌曲というと、ピアノは主役である歌の伴奏のような印象を受けます。室内楽シリーズで歌曲を取り上げられる理由は何ですか。

伴奏はやり甲斐が有って面白いですよ。ピアノと歌が対等だとか対等ではないとか、そういう事では無く、伴奏の奥深さをお届けしたいです。歌曲は歌手が歌うメロディ以外のすべてをピアノが作らないといけません。その曲の世界観を作るのもピアノです。言語による発音によって作り出すハーモニーの色彩も違います。今回だと、三か国語による愛の言葉に耳を集中させなくてはなりません。役に成り切ったミヒャエラが作り出す音楽は素晴らしく、一緒に音楽を作っていく喜びは大きいです。

―― 今回のプログラムを紹介してください。

ミヒャエラとシューマンの「女の愛と生涯」をやりたいと思ったのです。性別を問わず、人生の様々な場面と感情が反映され、それが繊細に描かれている私の大好きな曲。本当はそれに合わせて、全曲ドイツリートでまとめようと思っていたのですが、ミヒャエラはフランス歌曲をやりたいと（笑）。それなら互いにやりたい曲を出しあおうということになり、このプログラムで出来上がりました。ベートーヴェンとシューマンでフランス歌曲を挟んでいますが、ベートーヴェンのテキストはイタリア語です。

―― ミヒャエラ・ゼリンガーの魅力を教えてください。

知り合ったのは2010年。あるパーティーで知り合い、その後「ばらの騎士」のオクタヴィアンや「フィガロの結婚」のケルビーノを歌っているのを聴いて感銘を受けました。音楽の方向性が一緒というか、声にどこかず音楽性や情感溢れるところに感銘を受け、2012年から共演するようになりました。昨年、サントリーホール チェンバーミュージック・ガーデンで「月に憑かれたピエロ」を一緒に演奏しました。それは素晴らしいピエロで、もっと多くの人に彼女を紹介したいと思ったのです。

―― オペラや歌曲などもご覧になられるのですね。

オペラは大好きです。ザルツブルクに住んでいた頃は、年中ウィーンにオペラを観に行っていました。歌曲も好きで、CDではディートリヒ・フィッシャー＝ディースカウをよく聞きました。彼の伴奏に欠かせないピアニストのジェラルド・ムーアは大好きです。職人的というか決して目立たないのですが、言いたいことは全部言う。歌の意味が全てわかる伴奏をすると言えばいいのでしょうか。目標とするピアニストの一人です。

―― メッセージをお願いします。

ミヒャエラはこのコンサートのために来日します。同じプログラムをスイスで演奏しますが、日本で聴けるのは住友生命いずみホールだけです。ぜひ私たちの演奏を聴きにいらしてください。お待ちしています。

◎Interview&Text／磯島浩彰

6/20 FRIDAY【チケット発売中】
「小菅 優 いずみ室内楽シリーズ Vol.2 愛」
小菅 優（ピアノ）&ミヒャエラ・ゼリンガー（メゾ・ソプラノ）

■会場／住友生命いずみホール　■開演／19:00
■料金（税込）／全席指定 一般¥6,000　U-30¥2,000
■お問合せ／住友生命いずみホールチケットセンター TEL.06-6944-1188（10:30～17:00※日曜・祝日は休業）

SPECIAL INTERVIEW 02

藤間勘十郎 Kanjuro Fujima

「実験と冒険」精神を引き継ぎ、芸術を語り、伝統を踊る

京都芸術大学内にある劇場、春秋座の芸術監督に2023年に就任した日本舞踊宗家藤間流・八世宗家 藤間勘十郎。初代芸術監督だった故三代目市川猿之助の意思を引き継ぎ、精力的に発信し続けている彼に、6月に行う二つの公演について話を聞いた。

―― 芸術監督となって、春秋座においての三代目市川猿之助さんの志「実験と冒険」を引き継いでおられるとのことでしたが、就任してその志をどう感じてらっしゃいますか?

私は長らく舞踊家としてやってきましたが、27歳の時に初めて演出をさせていただいてから以後、演者と裏方の両方をやってきて、自分の立ち位置ってどっちなのかなと思っていたんですね。そんな時に“芸術監督としてどうですか?”と言われ、やっとそっち側（裏方）として思われた、そして私も覚悟ができたなと。そして猿之助さんの志である「実験と冒険」についても、裏方として大いにやっていけるなと思いましたね。だから若い方たちには、まずはなんでもいいからやってみることを勧めています。頭で思っていても実際やってみないとわかんないんですよ。私も小さい頃からそういう教えで育ってきたので、それで失敗することもあったし、良かったってこともありましたから。

―― 今回二回目となる芸術講座にも「実験と冒険」を感じられます。

前回は、国立劇場おきなわの芸術監督である金城真次さんをゲストに琉球舞踊の世界を考察させていただきました。基本、この芸能講座は私が興味を持って話したい人をお迎えして、私自身がまだまだ勉強したい、いろんなことを吸収したいということで企画していますが、つい日々の忙しさに追われ、年齢も重ねてくると、お尻が重くなって、見たり聞いたりしなきゃなと思っていたことも“まぁいいか”ってなってしまう。だからこそ勉強する意欲を奮い立たせて、その思いを皆さんと共有できたらと。今回はまつもと市民芸術館 芸術監督団団長で、木ノ下歌舞伎を主宰している木ノ下裕一さんをお迎えするのですが、以前、木ノ下歌舞伎「東海道四谷怪談」の6時間もの通し上演を見て、興味を持って。私もやったことはあるのですが、逆に1時間45分にしての上演でした。まさに「実験と冒険」をされている木ノ下さんに、その部分の演出意図やマニアックな部分などをお互いに話せたらと思っています。

―― 続く「春秋座花形舞踊」も若手たちが“挑戦”する舞踊が楽しみです。

「小栗判官車街道」はコロナ禍で時間があった時に書きました。普通は照手姫にスポットが当たりますが、今回は中村富十郎さんの娘さんで舞踊家である芳澤壱弓は演じるお駒にスポットを当て、そこに市川團子の小栗判官と私が演じる水戸小次郎という忠臣が絡むという形にしています。実は物語上、大事な部分でもあるのでどう見ていただけるのか楽しみです。「鬼揃紅葉狩」は、今回は前半の紅葉狩の美しさ、後半の鬼が出てくる怖さで“素踊り”で、そして若手たちも起用して群舞的なことも考えています。これもやってみないとわからないですが、ここは三代目の志である「実験と冒険」精神を発揮したいと思っています。

◎Interview&Text／仲谷暢之（アラスカ社）　◎Photo／中山博喜

6/14 SATURDAY【チケット発売中】
芸術監督 藤間勘十郎の芸能講座 第二回
「芸術監督vs芸術監督2」四谷怪談を語る!

■会場／京都芸術劇場 春秋座　■開演／14:00
■料金（税込）／全席自由 一般¥1,500　学生&ユース(25歳以下)¥500

6/21 SATURDAY・21 SUNDAY【チケット発売中】
京都芸術劇場 春秋座 藤間勘十郎芸術監督プログラム
「春秋座花形舞踊公演」

■会場／京都芸術劇場 春秋座
■開演／6月21日(土)11:00、16:00　6月22日(日)11:00
■料金（税込）／全席指定 特典付SSYT¹⁄₂9,900(完売)　SSYT¹⁄₂9,900(完売)　SYT¹⁄₂9,900(完売)　AY10,000　学生&ユース(25歳以下)¥6,000
■お問合せ／京都芸術大学舞台芸術研究センター TEL.075-791-9207（平日10:00～17:00）

SPECIAL INTERVIEW 03

ルヴェルヴェッツ LE VELVETS

宮原浩暢 Hironobu Miyahara × 佐藤隆紀 Takanori Sato

3人になって新たな一歩を! 圧倒的な声量&なめらかで上品な歌声に酔う

「クラシカルクロスオーバー」をコンセプトに活動するボーカルグループ「ル・ヴェルヴェッツ」。宮原浩暢（バリトン）、日野真一郎、佐藤隆紀（テノール）の3人が織りなす、圧倒的でありながら滑らかで上品な歌声がビルボードライブ大阪に登場。どんな思いで挑むのか、宮原、佐藤の2人に話を聞いた。

―― 2025年1月から現在の3人態勢になって以来、初めてのビルボードライブ大阪に登場です。お気持ちはいかがですか?

宮原：3人揃って皆様の前でパフォーマンスができるのが本当に楽しみです。僕たちはクラシックの出身なんですが、クラシックって有名な作曲家が生み出した曲のカバーなんですよね。それを演奏する側が自分達の色を出して面白い物にしていく所が根っこにある。だから音楽大学出身の僕たちが、皆さんが知っている曲もうんな形に変えてお届けする、そういう思いを大切にして、曲作りをしています。

佐藤：そうですね。声量や歌の技術というのは僕たちの武器でもあるので。日野さんはファルセットで女性の声色まで歌えるし、僕は低音も出せる。いろいろな組み合わせができるんです。それに、ビルボードライブ大阪は、お客さんの顔も近いので、路上ライブをやってた初期の頃を思い出すんですよ。お客さんと一緒にこの空間を作っているという気持ちになりますし、歌っていて大事だと思うのは、お客様の心にグッとくるかどうかです。

―― 個性的な3人が集まっていますが、それぞれの良い所は?

佐藤：日野さんは器用。ピアノが弾けたりね。それに、トークのボケが面白い（笑）。自由な感じがありますよね、彼には。

宮原：そうだね（笑）。楽曲についても知識がすごく豊富です。

佐藤：宮原さんは真面目で、誰より練習してきた男ですよ。僕、このグループに入るオーディションの時に「宮原さんのあそこの声がずっと気になってて。もっとこんな風にしたらどうですか」と言ったことがあったんです。グループを組むとなったら、それを受け容れてもらえるのかなと意を決して言ったんですが「トライしてみる よ」と、7つも年下の僕の意見を聞き入れてくれた。そこで僕は心の器の大きさやその姿勢に惚れたんですね。

宮原：佐藤君はまさにこういうところがすごい。先へ先へと進んでるし、努力を結果に結びつける人なんです。だから、自分も上手くならなきゃいけないなと刺激をもらっています。

―― 3人の良さが熟成されて、まるでワインのようです。そういえば宮原さんは、ワインエキスパートの資格をお持ちですね。

宮原：はい。作曲家の出身地や作品の物語の舞台になった土地で作られるものなど、音楽とワインはいくらでも繋がるんです。僕たちもワインのように熟成して、実力も付いた結果、いろんなものがつかめてきた。無駄な時間はなかったなと。

―― その集大成がビルボードライブ大阪で披露されるのですね。

佐藤：クラシックをベースに、定番の名曲からポップス、ジャスなどいろんなものをお届けできたら。最近挑戦していて面白いなと思うのが、スキャット的な感じでクラシックの名曲を奏でること。僕たちの声の力強さ、3人の壮大なハーモニー、楽しいトークも含めて「音楽」を感じていただけたらと思います。

宮原：積み重ねてきたものを携えてスタートを切る新たな僕たちをお届けしたいと思いますので、ぜひ会いに来てくださいね。

◎Interview&Text／田村のりこ

7/28 MONDAY【5/1(木)～チケット発売】
「LE VELVETS」

■会場／ビルボードライブ大阪　■開演／1st15:00　2nd18:00
■料金（税込）／全席指定 BOXシート（ペアシート）¥23,300
S指定¥11,100　R指定¥10,000　カジュアル¥9,500（1ドリンク付き）
■お問合せ／ビルボードライブ大阪 TEL.06-6342-7722

SPECIAL INTERVIEW 04

桂 米紫 Beishi Katsura

「まさにライフワーク!」桂米紫がセレクトする落語と映画を楽しむ会

自他共に認める映画好きの落語家、桂米紫セレクトによる古典落語とクラシカルシネマのコラボイベント「茨木コテン劇場」。第7弾は「いつまでも、忘れられない君の歌」をテーマに、若旦那と芸者の悲恋を描いた古典落語の名作『たちぎれ線香』を口演、映画はイタリアの巨匠フェデリコ・フェリーニ監督の代表作「道」を上映します。

―― 「いつまでも、忘れられない君の歌」というテーマは、どのようにして決まったのでしょうか?

僕はずっと「道」を取り上げたかったんです。すごく好きな映画で。今回、ついに実現することになって、スタッフと会議で話し合いをしているうちに、「道」と「たちぎれ線香」には似た部分があると気付きました。「道」には有名な曲「ジェルソミーナのテーマ」がありますし、「たちぎれ線香」は地歌の「雪」という曲が噺の重要なモチーフになります。今回は特に思い入れのある映画と好きなネタの組み合わせなので、僕もテンションが上がっています。

―― 毎回、「茨木コテン劇場」での高座は特別ですか?

普段の落語会であれば、「たちぎれ線香」のような大ネタは最後にやる、いわゆるリネタになることが多い。若い前座さんが軽いネタをやって、次にニツ目の人が出てと、何作か落語を聞いてもらった後に大ネタを聞いてもらいます。でも、「茨木コテン劇場」は本当に一本のネタで勝負します。落語を初めてお聞きになる地元の方もいらっしゃいますので、ネタに入るまでのマクラの部分もどのように導入しようかとすごく考えます。

―― 落語も映画も、その時々の自分の状況で受け止め方が変わりますよね。

そうですね。若い頃は全然意味がわからないと思っていた映画も、年齢を重ねると「こんなにいい作品だったのか」と思うこともあります。さらに落語は、同じネタでも演者によって切り口が変わりますから、それも一つの個性として楽しめると思います。

―― 米紫さんは「たちぎれ線香」をどのように受け止めていらっしゃいますか?

「たちぎれ線香」で僕が一番好きな役は番頭です。若旦那を蔵に閉じ込めた番頭を悪者にすることもできますが、僕は番頭が実は一番、人間愛に満ちた人なのではと思います。若旦那がやっと蔵から出たときに番頭が言うセリフがあるのですが、そこで実は番頭は優しい人なんだと思ってもらえるよう演じたいと思います。

―― そのシーンも当日の楽しみですね。落語と映画の間には米紫さんによる映画解説もあります。

ハードルが上がっているなと思うのが、チラシやポスターの文言で「ミニミニ映画解説」の前に「落語家の」とついている点です（笑）。数分という短い時間の中でどう笑いを散りばめようかといつも考えるのですが、この日も落語家らしい解説をしようと思います。

―― 米紫さんも客席で映画をご覧になります。

はい、毎回僕も客席で鑑賞しています。古典作品をスクリーンで見る機会もなかなかないので、この機会に堪能してほしいですね。

―― 昨年は30周年記念イヤーでしたが、31年目の2025年はどんな年になりそうですか?

そうですね、去年以上に力を入れたいと思いますし、年に1回の「茨木コテン劇場」を意識した新ネタにも挑戦していきたいと思っています。僕にとってこの会は、まさにライフワークになっています。

◎Interview&Text／岩本和子

7/6 SUNDAY【チケット発売中】
「茨木コテン劇場 ～古典落語とクラシカルシネマ～」

■会場／茨木市市民総合センター（クリエイトセンター）センターホール
■開演／13:00
■料金（税込）／全席指定 ¥2,000　U-25(25歳以下)¥1,000
■お問合せ／茨木市文化振興財団 TEL.072-625-3055

SPECIAL INTERVIEW 05

佐渡裕 Yutaka Sado

兵庫芸術文化センター管弦楽団20周年!2025-26シーズンを佐渡裕芸術監督が語る

9月に開幕する兵庫芸術文化センター管弦楽団(PAC)の2025-26シーズン。20周年を迎えたPACの定期演奏会を佐渡裕芸術監督が語った。現在、定期会員を募集中。ラインナップに魅力を感じたら、1年を通してマイ・シートで楽しめる定期会員になるのもおすすめだ。

── 20周年を迎えるPAC。定期演奏会の聴きどころを教えてください。

オープニングの9月の定期はブルックナーの作品を取り上げます。ブルックナー自身が総譜に「𝅘𝅥𝅮」と書き込んだ交響曲0番と「キリストは従順であられた」「テ・デウム」という2つの合唱曲。僕が日本で初めて指揮するプログラムです。ブルックナーの音楽に溢れる荘厳な響きをお届けしたいと思います。

── 12月にはベートーヴェンの「第九」も演奏されます。

「第九」は芸文センターのオープニングや10周年、15周年にも取り上げてきましたが、もともと欧米では大きな祝典や記念の時に演奏される曲。PACでも節目の年など特別な時に演奏しようと決めています。ソプラノのハイディ・ストーバーさんやメゾ・ソプラノの清水華澄さんほか、これまで夏のプロデュースオペラに出演した世界と日本の一流の歌手たちが登場します。20周年にふさわしい「第九」にしようと考えています。

── 1月のガーシュウィン「ピアノ協奏曲」でジャズ・ピアニストの上原ひろみさんが初登場するのも楽しみです。

上原さんはピアノも巧いし、全身の細胞が音楽とつながっているような素晴らしいセンスを感じるプレイヤーです。共演は僕からのリクエスト。後半のバルトークと併せ、すごくエキサイティングな回になると思います。

── シーズン最後の定期にはマーラーやバーンスタインという佐渡芸術監督ならではの作品が並びます。

前半はバーンスタインのウエスト・サイド・ストーリーの曲などを演奏するアメリカの建国250年にちなんだプログラム。後半のマーラーの第1番「巨人」は僕自身とても愛着のある作品です。PACでは18年ぶりの再演ですが、これまでの蓄積が自分の中で新しい演奏に結びつく予感がしています。

── 佐渡芸術監督が指揮をするこの4回のほかにも多彩な指揮者、ソリストが登場します。

アンドレアス・オッテンザマーさん、サッシャ・ゲッツェルさん、原田慶太楼さんといった指揮者や、世界のトップヴァイオリニストの1人とも言えるレイ・チェンさんほかが定期初登場。20周年にふさわしい顔ぶれが揃ったと思います。スーパーキッズ・オーケストラ出身のチェロの北村陽さんが、ソリストとして芸文センターに戻ってくるのも楽しみ。お馴染みの下野竜也さん、芸文センターの地元・西宮市出身の河村尚子さんのピアノも聴き逃せません。定期会員の募集も始まっているので多くの方に会員になっていただき、年間を通してお楽しみいただけたらと思っています。

── 20周年を迎えて改めて今、どんな気持ちですか?

うれしいのはややPACの卒団メンバーが日本中、世界中で活躍していること。アカデミー機能を持ったオーケストラとしてこれは予想以上の成果です。こうしたメンバーに今後はコーチやトレーナーとしてPACに来てもらって、コアメンバーたちの指導に当たってもらうことも考えられるようになりました。20年走り続けて新しい景色が見えてきたような気がします。

◎Interview&Text／逢坂聖也

9月〜'26 8月【チケット発売中】
「兵庫芸術文化センター管弦楽団 2025-26シーズン 定期会員券(9回通し券)」
■会場／兵庫県立芸術文化センターKOBELCO大ホール ■開演／15:00
■料金(税込)／全席指定 AY32,400 BY27,000 CY19,800
■お問合せ／芸術文化センターチケットオフィス TEL.0798-68-0255 (10:00〜17:00 月曜休 ※祝日の場合翌日)

SPECIAL INTERVIEW 06

三ツ橋敬子 Keiko Mitsuhashi

三ツ橋敬子(指揮)×千住真理子(ヴァイオリン) ロマンティックで力強い旋律を紡ぎ出す

今注目の指揮者と著名な演奏家を迎えて行われる大阪交響楽団の大人気シリーズ「フェニーチェ堺 名曲シリーズ」。第3回目となる今回のソリストは、今年デビュー50周年を迎えるヴァイオリニストの千住真理子。指揮者として招かれた三ツ橋敬子にコンサートの注目ポイントを聞いた。

── 今回のプログラムの聴きどころをお聞かせください。

シリーズ3回目となる今回のプログラムは、千住真理子さんにぜひブルッフのコンチェルト(第1番)を弾いていただきたいということでこの作品が決まり、ブルッフと組み合わせるのであれば、ブラームスの交響曲 第1番が良いのでは、ということで決定した、とうかがっています。どちらもとてもロマンティックな作品で、客席の皆さまそれぞれが、共感をおぼえたり、心に深く残るメロディに出会えたりすると思います。昨今では、インターネットが発達し、いつでもどこでも、いろんな形で簡単に音楽に触れることができるようになりましたが、そこを敢えてコンサートホールに足を運び、オーケストラを生で聴くことの醍醐味って何だろう?と考えると、やはりそれは「サウンドに包まれる感覚」だと思うんです。空気が振動して、それが客席の皆さまに伝わっていく。ただそれだけの本当にシンプルな現象ではあるのですが、そこから受ける感情は人それぞれで、そこから得るものや可能性は無限です。お越しいただく皆さまには、ぜひそうした「生の音楽」を味わっていただきたいです。

── 千住真理子さんをソリストに迎えたブルッフは、情熱的な演奏になりそうですね。

ブルッフのヴァイオリン協奏曲はロマンティックなだけではなく力強さも印象的な作品ですから、いつもパワフルな千住さんと、大阪を拠点とするオーケストラの中でも活気のある雰囲気をもった大阪交響楽団との融合で、この作品の魅力が存分に発揮されるのではないかと思います。オーケストラには各楽団それぞれに個性があって、それぞれに特色があるんです。指揮をしていて、そこがとても興味深くて面白いんですね。大阪交響楽団の皆さまとは、これまでも何度もご一緒させていただいており、パワフルな演奏が大変魅力的なオーケストラだと常々感じていました。

── ブラームスの交響曲第1番も言わずと知れた名曲ですが、三ツ橋さんご自身はこの作品のどういうところに惹かれますか?

ブラームスは4つの交響曲を残しており、それらは私たち指揮者にとってとても大切なレパートリーで、さまざまな場面でいろんな先生方に学ぶ機会や、指揮する機会があります。ですから、たくさんの思い出がつまっており、私にとってはそれだけでも特別な存在です。中でも第1番はイタリアのアルトゥーロ・トスカニーニ国際指揮者コンクールの決勝で指揮したという経緯もあり、人生の節目を共にした作品でもあります。この作品は長大で、より深く理解するために、まだまだこれから先何年も向き合っていくであろう作品のひとつでもあります。指揮者の役割はその作品に込められた作曲家の感情をできる限り理解して、それを音にすることですから。

── 聴衆の側にとっては、その長大さを全く感じさせない作品です。

そうですね、ブラームスならではのドラマティックな展開がそうさせているのかもしれません。曲調としては、先ほどもお話ししましたとおりとてもロマンティックで、一つひとつのメロディが美しく、それでいて力強さもある作品ですから、ぜひ気分の上がるお洋服でおしゃれして、楽しみにいらしてください。

©Earl Ross

◎Interview&Text／向後由美

6/28 SATURDAY【チケット発売中】
「大阪交響楽団 フェニーチェ堺 名曲シリーズ Vol.3」
■会場／フェニーチェ堺(堺市民芸術文化ホール)大ホール ■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定 SS¥4,500(予定枚数終了) S¥3,300 A¥2,800
■お問合せ／フェニーチェ堺(堺市民芸術文化ホール)TEL.072-223-1000

SPECIAL INTERVIEW 07

松本宗利音 Shurihito Matsumoto

大阪フィルの指揮者就任後、最初のコンサートは大好きな吹田メイシアターで

4度目となる「七夕コンサート」に指揮者 松本宗利音が選んだのはフランス音楽。ソリスト松田華音が得意とするロシア物ではなく、ラヴェルの「ピアノ協奏曲」を演奏するのも聴き所の一つだ。松本にコンサートに向けた抱負を聞いた。

── 吹田メイシアターの「七夕コンサート」は4度目のご出演です。

最初が映画音楽と「新世界より」のカップリングで、2度目がオール・チャイコフスキー。昨年はイタリアオペラから序曲集でした。フェスティバルホールやザ・シンフォニーホールから少し離れていることもあって、また違った大阪フィルのサウンドを聴いていただこうといろいろ工夫を重ねて来ました。

── そして今年はフランス音楽です。

ソリストがピアノの松田華音さんという事で、まず何を弾きたいか確認したところ、意外にもラヴェルが弾きたいと。これまで2度の共演は、いずれも得意とされているチャイコフスキーだったので、松田さんのラヴェルは僕も楽しみです。それなら今年は全編、フランス物でまとめてみるか、そんな感じですね。

── 少し前なら大阪フィルがフランス音楽?! みたいなことを言うファンも多かったのかなと思いますが(笑)。

大阪フィルといえば重厚なサウンド! と言われていたのはもちろん承知していますが、自分で振っているレコードで聴いたような朝比奈サウンドを感じることはありません。今の大阪フィルはメンバーが主体的にアンサンブルをやり、有機的に音楽を積み上げていくイメージです。音が大きいのはアイデンティティかもしれませんね(笑)。僕の考えるフランス音楽は多国籍な感じです。ドビュッシー「小組曲」は、一般的に言われる煌びやかで華やかなイメージの曲です。

── プログラムについて教えてください。

フランス音楽全体を揃でる感じに仕上がりましたと。ドビュッシーの「小組曲」は少し小さめの編成で、室内楽的にやりたいです。ラヴェルのピアノ協奏曲は、ポジティブな感じだけでなくデカダンでアイロニーな表情も、松田華音さんがどう表現されるか。これは聴き逃せませんね。後半のビゼー「アルルの女」第二組曲は、お待ちかねの「メヌエット」や「ファランドール」もあって、盛り上がる事は間違いありません。ポイントはこの後にマスネの「タイスの瞑想曲」を持ってきた事。コンサートマスターの腕の見せ所ですし、美味しいワンクッションになっています。そして最後はラヴェルの「ボレロ」。同じメロディを色々な楽器奏者が入れ替わり順番に演奏していき、それぞれの良さと主張が集まって一つの曲になっている。まさにフランス的な感じがします。メンバーも若返り、今の大阪フィルの「ボレロ」をぜひ聴いていただきたいです。この曲は、小太鼓の小さな音量から始まり、最後は大音量で締め括る。一部でその音量の差を競うゲームのような感覚になっているのではないでしょうか。僕は酒場の踊りという感じで、中東の民族音楽の要素を秘めた艶めかしい感じでやりたいですね。あまり神経質に聴いて欲しくはありませんね。

── 松本さんは4月から大阪フィルの指揮者に就任されました。最後にメッセージをお願いします。

就任後最初のコンサートが、子供の頃の思い出がたっぷり詰まった吹田メイシアターの「七夕コンサート」ということで、大変光栄です。今回が4度目になりますが、これまでも大阪フィルの実力や魅力が際立つプログラムをやらせて頂きました。今回はフランス音楽です。メインを飾るのは人気の「ボレロ」。若返りを見せる大阪フィルの管楽器奏者の実力をお聴きください。皆さまのご来場をお待ちしています。

◎Interview&Text／磯島浩彰

7/5 SATURDAY【4/23(水)〜チケット発売】
吹田市民劇場
「大阪フィルハーモニー交響楽団 七夕コンサート」
■会場／メイシアター 大ホール ■開演／15:00
■料金(税込)／全席指定 一般¥3,500 U25(学生)¥2,000
■お問合せ／メイシアター TEL.06-6386-6333(9:00〜18:30)

©Kazunari Tamura

SPECIAL INTERVIEW 08

並河寿美 Hisami Namikawa

びわ湖ホールの『メリー・ウィドウ』は、楽しみしかありません

今年に入り、フェニーチェ堺でダイジェスト版のレハール「メリー・ウィドウ」でハンナ・グラヴァリを演じ、阪神・淡路大震災を追悼するマーラー交響曲第8番「千人の交響曲」を歌い、ヴェルディ「運命の力」のレオノーラ役を熱唱。「この後、主役を演じるオペラが3本、オーケストラのソリストが4本控えていて…」超多忙を極めるソプラノ並河寿美が語ってくれた。

── 「びわ湖の春 音楽祭」が目前となりました。今年はびわ湖ホール制作のオペレッタ「メリー・ウィドウ」とオペラ「トゥーランドット」の2作品に主役として出演される並河さんが、お披露目を兼ねてオープニング・コンサートにご登場されます。

大好きなびわ湖ホールで歌わせて頂けることに感謝しています。ありがたいことに全国の主要ホールで歌う機会を頂いていますが、びわ湖ホールの舞台上から見る客席の景色は特別です。1階席と2階席がなだらかに繋がっているので、自分の目の高さに多くのお客様の姿が入り、包み込まれているような心地良さがあります。そして何といってもホールを取り巻くロケーションが素晴らしい。「びわ湖の春 音楽祭」オープニング・コンサートでは、ビゼーのオペラ「カルメン」より第3幕ミカエラのアリアと、オペラ「ルサルカ」より「月に寄せる歌」を歌わせて頂きます。音楽祭のテーマが「挑戦」だそうで、はとんど人前で歌ったことが無いミカエラのアリアは、私にとって挑戦と言えます。

── びわ湖ホールと並河さんの関係を教えてください。

1998年開館記念オペラのマスネ「シンデレラ」の題名役、初めてのびわ湖ホールプロデュースオペラは2009年の「トゥーランドット」の題名役です。その後2011年のプッチーニ「アイーダ」の題名役、最後が2012年のワーグナー「タンホイザー」のヴェーヌス役ですので、今回が14年ぶりです。実は2017年のワーグナー「ラインの黄金」には、ヴォークリンデ役で出演が決まっていたのですが、公演直前にインフルエンザで降板となりました。今回の「トゥーランドット」では、2009年当時より成長した自分をお見せしたいです。

── 今回は7月に行われるレハール「メリー・ウィドウ」について語って頂きます。コロナ禍に行われた兵庫県立芸術文化センターの"佐渡オペラ"は、大変な話題を呼びました。

佐渡オペラ「メリー・ウィドウ」には2度出演しています。最初は2008年にヴァランシエンヌ役で出演、ハンナ役の佐藤しのぶさんが本当に素晴らしくて、これを超えるハンナは無理だろうなぁと思って見ていました。2021年にハンナ役を頂いた時は、しのぶさんを意識しながらも、なんとか自分なりのハンナを演じられたように思います。

── 今回の「メリー・ウィドウ」は オペラへの招待 というシリーズで、びわ湖ホール声楽アンサンブルの専属メンバーとソロ登録メンバーが中心となってキャストを構成しています。

びわ湖ホール声楽アンサンブルのOB(ソロ登録メンバー)の皆さんは関西オペラシーンの中堅として活躍されている方も数多くいらっしゃいます。また、私が教員をしている大阪音楽大学の卒業生も多く、ご一緒できるのは嬉しいです。私が学生の頃に先輩や師匠の姿を見て憧れたように、しっかりと態度で示さなければと思っています。ダニロ役の迎肇聡さんとは色々なオペラでご一緒しますが、デュエットは初めてのはず。演出の唐谷裕子さんは、アシスタント時代から信頼おけるパートナーで、一緒に旅行に行く友達です。発想が面白い彼女だけに、どんな演出を付けてくれるのか楽しみしかありませんね(笑)。

── メッセージをお願いします。

びわ湖ホールで版マエストロとご一緒するのは初めてです。なんでも、版さんは大変な雨男だとか。私は周囲も認める晴女。公演当日はどうなりますか(笑)。名曲も多く楽しい作品です。ぜひホールでお待ちしています。

◎Interview&Text／磯島浩彰

7/18 FRIDAY〜21 MONDAY・HOLIDAY【チケット発売中】
〈オペラへの招待〉
レハール作曲 オペレッタ「メリー・ウィドウ」
全3幕(日本語上演/日本語・英語字幕付)
■会場／滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 中ホール ■開演／各日14:00
■料金(税込)／全席指定 一般¥6,050 青少年(24歳以下)¥2,200
■お問合せ／びわ湖ホールチケットセンターTEL.077-523-7136 (10:00〜19:00 火曜休館 ※休日の場合は翌日)

チケットぴあ Special Selection

チケットぴあは音楽、スポーツ、演劇など、あらゆる催し物のチケットを販売しております。
その中でも、今、ぴあがイチオシするエンタテインメントを厳選してピックアップ！
今号はEXPO2025『未来へのOne Step！～世界を結ぶ愛の歌声～』に出演の真琴つばささんのインタビューをお届けします！

「日本独自の文化 “宝塚”の魅力を伝えたい」

大阪・関西万博のEXPOホール「シャインハット」にて上演、その後は東京と大阪・梅田でも公演が予定されている本作。真琴つばさら宝塚歌劇団の卒業生が、宝塚ゆかりの名曲や名シーンで綴る今回だけのスペシャルショーだ。

出演は、真琴の他にも元トップスターや元トップ娘役がズラリ。中でも麻実れいは、1970年の大阪万博イベント『タカラヅカEXPO'70』で初舞台を踏んだとあって、これまでの55年の軌跡をたどる語り部として登場する（大阪・関西万博公演のみ出演）。
「麻実さんはご存じの通り伝説に残るトップスターでいらしたし、私は麻実さんにあこがれて宝塚に入団したので、とてもドキドキしています（笑）。万博での公演はそんな麻実さんが語り部となり、スタンダードナンバーをメインにして贈る「1幕ノンストップのスペシャルショー」。共演はご縁のある先輩や同じ時期に在団していた仲間も多く、他では観られないこのステージを一緒に作り上げていくことが楽しみです」。

万博公演の後は、東京と大阪でも上演。内容を一部変更・追加して2幕ものの構成へとボリュームアップ。こちらは“宝塚でのスタンダード曲”もふんだんに盛り込まれる予定なので、万博公演とこちらの両方を見比べてみるのもオススメだ。
「万博では開催国にまつわる曲で構成されていて私が参加したロンドン公演（1994年）でも上演されたショー『ミリオン・ドリームズ』からも何曲かピックアップされるようです。そして東京・大阪公演では、私たちキャストそれぞれの思い出がよみがえる懐かしいナンバーや、宝塚のショーの名曲、ラテンナンバーも加わり、こちらは宝塚ファンの方も倍楽しめる構成になっているようです。ぜひこちらも楽しみにしていてください」。

近年はインターネットで宝塚を知ってファンになり、海外から駆けつけるという“宝塚ファン”も多くなっている。本作は万博公演と東阪公演を通じて、その裾野をさらに広げる機会となりそうだ。
「女性だけのカンパニーで、男性役も演じて、大舞台でお芝居もショーもするというのは世界でもおそらく宝塚だけですよね。日本人が演じるからこそ醸し出される味や魅力があると思うんです。海外からいらしてたまたま万博で本作をご覧になった方には、こんな文化が日本にあるのかと新鮮な感じで楽しんでいただければ。今回は宝塚歌劇団の卒業生によるショーなので、宝塚そのものとは少し異なるのですが、“宝塚”という日本独自のエンタメの魅力をお伝えしつつ、卒業生の今だからこそできる表現というのも出していきたいですね」。

振り返ってみれば、やはり「万博」には特別な感慨があると語る真琴。
「前回の大阪万博は東京出身の私の親戚でもほとんどが行っていましたし、私も宝塚在団中に生徒（劇団員）同士でふと思い立って、万博記念公園のシンボル・岡本太郎さんの太陽の塔を見に行ったことも。「万博」ってそういう特別な思い出を作ってくれる場所だと感じますし、私たちのこの作品も、ご覧になった方の記憶に残るものになればいいなと思っています」。

取材・文／藤野さくら

EXPO2025『未来へのOne Step！～世界を結ぶ愛の歌声～』

【大阪・関西万博公演】
■4月29日(火・祝)～5月1日(木)　■EXPOホール「シャインハット」　※万博チケットで入場可能。要予約（当日予約可）。
【大阪公演】
■5月25日(日)～27日(火)　■梅田芸術劇場メインホール　■S席-13000円　A席-9000円　B席-5000円
【構成・演出】中村一徳（宝塚歌劇団）
【出演】麻実れい（「大阪・関西万博公演のみ出演」）／剣幸／安寿ミラ／一路真輝／麻路さき／真琴つばさ／姿月あさと／和央ようか／湖月わたる／風花舞／月影瞳／大鳥れい／舞風りら／舞羽美海／妃海風／他　※未就学児童は入場不可。

5月	25 日	26 月	27 火
12:30	♡	◇	○
17:00	☆		

◇=アフタートークショー
（登壇者：剣 幸・安寿ミラ・一路真輝・麻路さき）
☆=アフタートークショー
（登壇者：真琴つばさ・姿月あさと・和央ようか・湖月わたる）
○=「みんなで歌おう」イベント（終演後）
♡=スペシャルノベルティプレゼント

チケットの購入はコチラ！

チケット発売中

～ぴあでチケットを購入するには？～

パソコン・スマートフォンで購入
①公式サイト（t.pia.jp）かチケットぴあアプリにアクセスし、会員登録。登録料・年会費は無料。
②購入したい公演を検索し、ご希望の開催日程や枚数をお選びください。
③お支払いの手続き。クレジットカード、コンビニ支払い、電子マネーで支払い可能。
④チケットの引き取り。※引取方法はチケットをご購入の際にご確認ください。

セブン-イレブンで購入　店内の「マルチコピー機」で、画面に従ってご操作ください。

無料でダウンロード
スマートフォンをお持ちの方は、チケットぴあアプリがより早く、便利です。
AppStore　Google play

隔月発行！
演劇情報フリーマガジン
ステージぴあ 関西版
劇場カレンダーやインタビューなど盛りだくさんの内容をお届け！関西の各劇場で入手いただけます。

秋川雅史
コンサート 大阪2025
9/20(土) 15:00
チケット一般発売日 5/31(土)10:00AM
住友生命いずみホール
¥7,300（全席指定・税込）※未就学児入場不可　KYODO
チケット先行受付実施！
【チケットぴあ】4/20(日)6:00～4/27(日)23:59
https://w.pia.jp/p/masafumiakikawa25meg/
※先着順 ※お一人様４枚まで ※良席を約束しているものではありません

8/9(土)～17(日) 大阪城ホール　9/13(土)～15(月・祝) 神戸ワールド記念ホール
S席 ¥8,400/A席 ¥5,900/プレミアム席 ¥13,000（全席指定・税込）
※2歳以下のお子様は保護者（大人）1名につき、1名まで膝上観覧無料。但しお席が必要な場合は有料。
©Disney　KYODO
公演詳細はHPをチェック！！　ディズニー・オン・アイス　検索
特別受付！ 4/20(日)5:00～4/30(水)23:59
※先着順 ※良席を約束しているものではありません
【チケットぴあ】※お一人様12枚まで https://w.pia.jp/p/doi25meg4g/

KYODO KANSAI GROUP Information　https://kyodo-osaka.co.jp/　【お問い合わせ】キョードーインフォメーション　0570-200-888（12:00～17:00・土日祝休み）

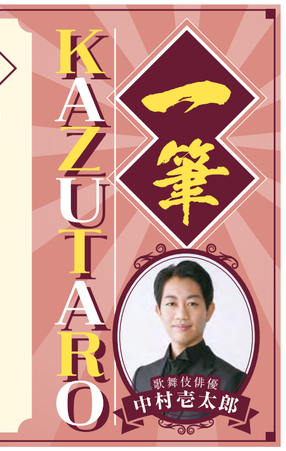
藤木大地の大冒険

#04 アジアのススメ

©平舘平／東京・春・音楽祭2025

僕にとって、子どもの頃の「外国」といえば、アメリカだった。TVにかじりついて観ていたプロ野球の「助っ人」たちが、主にアメリカから来た人たちだったからかも。バースは神!クラシック音楽を夢見るようになって興味の対象はヨーロッパへと移った。
パスポートをとったのはハタチの誕生日。1年分くらいのバイト代をつぎこんで、1ヶ月、イタリアへ語学留学に行った。初めて自分で稼いだお金で学ぶ体験。めっちゃ勉強したしめっちゃ節約した。そしてイタリア語が少し話せるようになり、イタリアを好きになった。
それから25年、実はこれまでアジアの国に縁がなかった。ヨーロッパに行く途中に乗り継ぎの韓国でドミトリーに一泊しただけ。市中やレストランのハングルは何も読めなくて、道もメニューも選べない。当時はまだGoogleもない。席に座り、唯一知ってる韓国語「キムチチゲ」を発音し注文。見事にキムチチゲが出てきた。拍手。
そんなわたくしですが、今年、シンガポールとマカオで歌えることになりました。
この2月にまず訪れてみたシンガポール。6時間のフライト。寝てれば着くシンガポール。赤道直下のシンガポール。セブンも牛角も無印もユニクロもあるシンガポール。いや、それらは欧米にもあったけれど、シンガポールのは日本のまんまだった。現地でお世話になった駐在の方が、初赴任がここでラッキーでした～と仰る。そうでしょうそうでしょう帰りたくないでしょう。日本より良いかもしれない治安に、清潔な街。イタリアで1回、ウィーンで2回スリにあった経験からも、外国とは、見えない敵に身構えて暮らす戦いの場所でもあったので、こんな「外国」もあるのかとショックを受けた。みんなすごく幸せそうに見えた。そうして俄然、アジアの国々への興味がわいてきたのであった。
マカオではマタイ受難曲のソリストを、シンガポールではリサイタルをする予定です。クラシックの演奏活動は、ずっと続けて応援してくださっているコアファンの皆さんに土台を支えていただいた上に、新規のファンの皆さんが増えていくことで、ついにホールが満席になり、新しい展開を迎えられるものだなぁと、公演に来てくださる皆さんへの感謝を新たにする今日この頃。
推し活、遠征…アジアの国々にもバカンスがてら、いかがでしょうか？
寝てれば着くぜ？
まだまだ知らない世界を飛び回りたい、表紙ボーイの藤木大地でした！

一筆 KAZUTARO


歌舞伎俳優 中村壱太郎

#04 「幸せな演劇とは!?」

歌舞伎は伝統芸能である。堅苦しいとか、分からない、ってイメージがある。だからこその奥深さと、ハマればハマるほど楽しさがある。されど、どこまでいっても“演劇”なのだと改めて強く思う出来事がありました。弥生半ば、まだ肌寒い京の街をヘトヘトになって歩いていた帰り道、一本の電話が鳴った。電話の主は、4月、歌舞伎座で上演する「木挽町のあだ討ち」で脚本・演出をなさる齋藤雅文さんでした。自身が稽古に遅れて参加することもあり、稽古初日前にご連絡したら、その折り返しのお電話をくださいました。齋藤さんは、香川県の芝居小屋・金丸座で松本幸四郎のお兄さんと「女殺油地獄」をさせていただいた時に、たくさんの気づきをくださった大恩に始まり、様々な思い出があり、久しぶりのご一緒をとても喜んでいた中で、お話は初っ端からかなり色濃く、刺激的なものでした。話はすぐに今回の脚本についての話題となり、作品の中に込められた“天命”というものは我々演劇の人間にも通じるものがあり、今これを演じることの意味をお話してくださいました。さらに先日、長塚圭史さんと「花と龍」というお芝居をなさっていらっしゃった話へと至り、その話題の中で、「演劇で幸せになるとは!?」そこまで及びました…気づけば朝から晩まで舞台に立ち劇場に籠って疲弊していたはずなのに、寒空の中かなりの時間、話に聞き入って心躍っている自分がいました。「あー！また素敵な作品に出会うことができる！」そう思って夜空を見上げ、“おぼろ雲”からのぞく月、“演劇とは”を自分に問いかけ、寒さも気にせずそのまま夜道を彷徨いました。「歌舞伎は稽古期間が短いのに、よくできますね!?」なんて問いを投げかけられることがありますが、その少ない4、5日で全てを創り上げているわけではもちろんないのです。役者個々の本稽古に至るまでの組み立てがあり、一気に創り上げる準備をギリギリまで詰めてくださるスタッフさん達がいらして、そして1日1日の稽古にかけて、間際に獅子奮迅するからこそ初日の檜舞台の上に立つことができるのです。その舞台は、伝統という名の基に、いつまでも“演劇”でなくてはいけないと強く思います！いや、今思っています！今月の台詞のように「その日その日を一所懸命生きているだけ」、常に今を大切に生きたいと思う、そう出来るように願う。

暉峻創三の特選シネマ

暉峻創三（てるおか そうぞう）／映画評論家。大阪アジアン映画祭プログラミング・ディレクター。

第二十八回 「うおっしゅ」

大阪アジアン映画祭常設部門の一つに〈インディ・フォーラム〉がある。主に小規模予算で製作された日本のインディーズ系作品が上映される部門。監督も新鋭であることが多い。元来、大阪アジアン映画祭のコア観客層の関心は香港、台湾など近隣アジアの映画に向いていたせいもあり、かつては必ずしも注目度が高いとは言い難い部門であった。
しかしここ1～2年、この部門の上映作品が脚光を浴びることが俄然増えてきている。今年3月の開催回では、高橋伴明（クロージング作品「桐島です」）、平松恵美子（「蔵のある街」）、足立紳（「Good Luck」）、宮崎大祐（「V.MARIA」）らも、既に業界で名声を築いた監督たちも、その最新作を携えて参加。満席の状態で世界初上映を迎えるケースもしばしば見られるようになってきた。
そんな〈インディ・フォーラム〉の上映作品のなかでも最も華々しい注目作となったのが、岡崎育之介監督の「うおっしゅ」だろう。昨年の同部門で世界初上映。その時点では国内公開も未定だったが、映画祭で披露されるや絶賛の声が一挙に拡散。配給会社も決まり、いよいよ来たる5月からロードショーされる。
通常、インディーズ製作の作品は、商業公開されたにしても、主要都市のミニシアター1～2館程度を使って順次公開というスタイルになる。が、本作は各都市でシネコンに進出して全国一斉公開。大阪でも一挙に5館ものシネコンで公開される。ここまでの“出世”は、おそらく監督自身も予想していなかっただろう。
夜はソープ店で働くヒロインが、突然、日中に認知症の祖母の介護をすることになる話。映画のタイトルは、主人公のミッションが夜も昼も人の身体を洗うことである点に由来している。介護という重いテーマを扱った作品でありながら、終始軽妙洒脱に物語を語りきるアプローチが、圧倒的に光る。暗さではなくカラフルさが支配する色彩設計も秀逸。祖母役・研ナオコの熟練の極みの演技と、ソープ嬢役・中尾有伽のフレッシュな魅力の掛け合わせが、映画を最後まで強力に牽引する。

「うおっしゅ」
5月2日より大阪ステーションシティシネマほかにて公開。

美術連載 COLUMN ARTな散歩道

小吹隆文（美術ライター）
関西を中心に活躍中。直接足を運んで作品世界に触れることをモットーとしている。

Vol.28 もう二度とないかも。関西に日本の国宝が集結！

2025年春、関西美術シーンのキーワードを挙げろと言われたら、それは「国宝」である。そう、日本の宝がかつてない規模で関西に集結するのだ。その一つを中心にキーワード=国宝の理由を説明しよう。
奈良国立博物館で4月19日に始まった奈良国立博物館開館130年記念特別展「超 国宝ー祈りのかがやきー」。国宝の上に「超」が付くのは大げさでは？と思う人がいるかもしれないが、本展の内容を知れば誰もが納得するだろう。我が国の仏教・神道美術の至宝約140件が集結しうち約110件が国宝というとんでもない展覧会なのだ。
そもそも奈良国立博物館は明治28年（1895）4月29日に「帝国奈良博物館」として開館した。開館当初から仏教・神道美術を中心に扱ってきた歴史を持ち、この分野では日本でトップクラスの施設なのだ。その開館130年を記念して行われる本展には、時代を超えた名品の数々はもちろん、先人から受け継がれてきた祈りや、この国の文化を継承する人々の心もまた宝であるという深い意味が込められている。展覧会の目玉は全部だが、敢えて挙げると、法隆寺「国宝 観音菩薩立像（百済観音）」（通期展示）と中宮寺「国宝 菩薩半跏像（伝如意輪観音）」（展示期間:5月20日～6月15日）の共演である。日本に仏教がもたらされた飛鳥時代・7世紀の名品ツートップが並び立つ。これだけで本展の貴重さが分かるだろう。
他には、運慶の初期作である円成寺「国宝 大日如来坐像」（通期展示）、真の釈迦の姿を写したという伝説の霊像、清凉寺「国宝 釈迦如来立像」（展示期間:5月20日～6月15日）、石上神宮に伝わる謎の神宝「国宝 七支刀」（通期展示）、春日大社「国宝 金地蝶鋼毛抜形太刀」（通期展示）、薬師寺「国宝 吉祥天像」（展示期間:4月19日～5月6日）など、挙げだしたら切りがない。
また、京都と大阪では「大阪・関西万国博覧会」を記念した展覧会が行われる。京都国立博物館で4月19日に始まった「日本、美のるつぼ」では、俵屋宗達筆「国宝 風神雷神図屏風」（通期展示）など国宝・重要文化財を多数含む約200件が展示され、大阪市立美術館で4月26日より行われる「日本国宝展」では、全国から約130件の国宝が集結する。
これでキーワード=国宝の意味が分かってもらえただろうか。全部を見るのは大変だが、関西でこんな機会はもう二度とないかもしれない。万難を排して出かけてほしい。

国宝 菩薩半跏像（伝如意輪観音）
飛鳥時代・7世紀
奈良・中宮寺
展示期間:5月20日～6月15日

◎4月19日（土）～6月15日（日）
奈良国立博物館開館130年記念特別展「超 国宝ー祈りのかがやきー」
■会場／奈良国立博物館 東・西新館
■時間／9:30～17:00（入館は16:30まで）月曜休
※4月28日（月）・5月5日（月・祝）は開館、5月7日（水）は休館
■料金（税込）／一般¥2,200　大高生¥1,500　中・中学生以下無料
■お問合せ／TEL.050-5542-8600（ハローダイヤル）
https://oh-kokuho2025.jp
※「日本、美のるつぼ」と「日本国宝展」の詳細はそれぞれのサイトでご確認ください。

MEG WEST VOL.28
2025.April
TAKE FREE
Mixture Entertainment Guide

Producer／石原 卓（questroom）
Publisher／福村 明弘（MOBYDICK PROMOTION）
Designer／赤坂 由有（goldfish projection）
Chief Editor／杉岡 ちず子（questroom）
Editor／紅粉 チコ
Brain／磯島 浩彰
Cover Photographer／安田 慎一（STUDIO SHIN）
Interview／仲谷 暢之　逢坂 聖也　田村 のりこ　向後 由美　岩本 和子
Special Thanks／永井 敬子（questroom）
Printing／株式会社 朝日プリンテック
Distribution／株式会社 朝日コネクト大阪

［掲載内容に関するお問合せ］MEG関西版編集室 TEL.06-6484-9711（クエストルーム株式会社）〒530-0047 大阪市北区西天満2-8-1 大江ビルヂング507 http://www.meg-net.com

ビルボードライブ大阪 公演情報

www.billboard-live.com

Check! 注目の公演

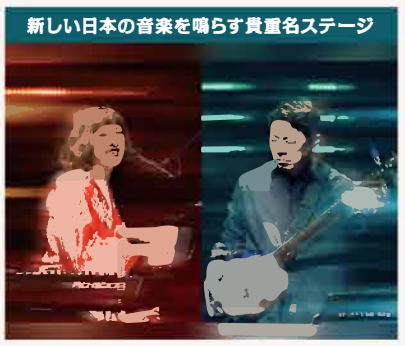
OSAKA billboard LIVE

鈴木聖美 & 桑野信義 with TZ's

5.19 Mon
SA:¥8,000~ / CA:¥7,500
[1st] 開場16:30 開演17:30
[2nd] 開場19:30 開演20:30

オルケスタ・デ・ラ・ルス

5.20 Tue
SA:¥8,400~ / CA:¥7,900
[1st] 開場16:30 開演17:30
[2nd] 開場19:30 開演20:30



やのとあがつま
（矢野顕子 & 上妻宏光）
Japan Tour 2025

5.22 Thu
SA:¥9,000~ / CA:¥8,500
[1st] 開場16:30 開演17:30
[2nd] 開場19:30 開演20:30

南佳孝
「愛した数だけ」
アルバム発売記念 LIVE

5.23 Fri
SA:¥8,700~ / CA:¥8,200
[1st] 開場16:30 開演17:30
[2nd] 開場19:30 開演20:30

Kamasi Washington
カマシ・ワシントン

5.26 Mon & 27 Tue
SA:¥16,900~ / CA:¥16,400
[1st] 開場16:30 開演17:30
[2nd] 開場19:30 開演20:30

bird
"Reconnect" Live!

6.2 Mon
SA:¥9,400~ / CA:¥8,900
[1st] 開場16:30 開演17:30
[2nd] 開場19:30 開演20:30

麗蘭
[ROCK&ROLL Hymn]
Billboard Live OSAKA

6.8 Sun
SA:¥9,000~ / CA:¥8,500
[1st] 開場15:00 開演16:00
[2nd] 開場18:00 開演19:00
〈チケット一般販売〉5.2(金)12:00~

上田正樹
R&B BAND

6.13 Fri
SA:¥8,400~ / CA:¥8,400
[1st] 開場16:30 開演17:30
[2nd] 開場19:30 開演20:30

SA:サービスエリア（スタッフサービス付きでお料理をお楽しみいただけるレストラン形式の席） / CA:カジュアルエリア（1ドリンク付きのカウンター席）

MEG読者様限定 TICKET

ビルボードライブ大阪にて開催ライブに

＼抽選で／

ペアご招待!!

対象公演

6.3 (火) TOKU & The Power House
feat. 小沼ようすけ、森俊之、松原秀樹、沼澤尚
[1stステージ]開場16:30 開演17:30 [2ndステージ]開場19:30 開演20:30

6.4 (水) アレクシス・フレンチ
[1stステージ]開場16:30 開演17:30 [2ndステージ]開場19:30 開演20:30

応募方法

下記項目を入力して、メールアドレス【✉ present@billboard-live.com】までメールにてご応募下さい。
① 代表者名 ② フリガナ ③ お電話番号 ④ 希望来場公演
⑤ 希望ステージ（1st or 2nd） ⑥ 件名「MEG読者招待」

こちらからも応募できます！

応募締切 5.6(火・休)
※詳細は、メールにてお知らせいたします。定員に達し次第、ご応募を締め切らせていただく場合がございます。

公演詳細・最新情報などは公式HPをチェック！
チケットのご購入はWEBから
www.billboard-live.com ビルボードライブ大阪
@Billboardlive_o @BillboardLiveOSAKA @Billboardlive_osaka

Official Sponsors Asahi Glico Daiwa House